

「新たな総合計画（素案）」に対するパブリックコメントのご意見

※ヘイトスピーチ解消法（本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律）の趣旨を踏まえ、差別的表現に該当すると考えられるものについては、公開にあたり、当該部分を削除しています。（表中、《削除》と記載）

No.	ご意見
1	年の離れた妻がいるので、将来的に子育てを頑張りたいと考えている。 つきましては妊娠出産して一度、職場から離れても再就職して子育ての費用を稼げる環境にしてほしい。 子供が何人か産まれると今のアパートでは手狭になる。なので空き家を買やすい環境にして頂ければ、リフォームして住むことができる。 少子化と空き家問題を解決するためにも、パートの女性が妊娠出産した場合に、どうやって子育ての費用を稼ぐのか？どうやって住み家を手に入れるのか？について問題解決しやすい環境に取り組んでもらいたい。
2	富山県の人口減少により移民を入れようと考えていらっしゃると思います。川口市、大阪市、京都市ほかたくさん市の町村で、外国人が増えすぎたため治安が悪くなっています。ゴミ出しなど決まりを守らないため住民が困っていると聞きます。学校では日本語のわからない子供が増えて授業が思うように進まず学力の低下を心配されています。 人口増加のため少子化対策として、子供が生まれたらお祝い金を贈るというような条例を富山県で作ってもらえるとうれしいです。朝日町では子供が生まれたらお祝い金をもらえます。 人手不足の解消としては、定年を設けずいくつになっても働ける職場作りが必要だと思います。高齢者を雇用している会社に補助金を出すとか何らかの対策をしてくださるといいのではないかと思います。 また若い女性が県外に出て行ってしまうというのも問題です。若い女性が富山に住みたい、富山で働きたいと思えるような魅力的な富山県を作ってくださいお願いします。
3	昨今の高度情報化社会【情報・過多、早い陳腐化】こんな盛りだくさんの計画・政策を、心に余裕のない現代社会、果たして何人の方(県民)が目にするんだろうか？ せめて、例えば『You complete policy！【あなたが政策を完成させる！】』心に刺さるグッドoneフレーズをタイトルとして記載、特に若い世代へと発信、その上で『どう思う？こんな想い・伝え方を綴る！ストーリー』を発足Wordにて一般県民を対象に、人づくりの観点から、政策集団仮称・『Policy composition writer【政策構成作家】』を結成募集されてみてはいかがでしょう。 今の時代はポツ政策ネタだけと近い将来には、役に立つと思う政策へと・・・、そんな政策・施策が誕生を待ちわびているかもしれません。(懸念材料して受け手側の技量・センスの課題。) この制度は学校が苦手な学生たちの社会との接点のツール、内申書・エントリーシート記入項目に採用役に立つと思います。 追記・今まで以上に『こんな伝え方』の工夫を楽しみにしています。
4	1. 目標の定量性が薄い 幸せ人口1000万は魅力的だが、基準値351万人→1000万人の増やし方の内訳（移住・二拠点・ふるさと納税・UIJターン等の寄与目標）が未提示。測定は独自調査だが、定義や調査周期・方法の固定化が見えず、政策効果との因果が追いつらい。KGI/KPI、データ源、更新頻度、担当部局を併記の上、明記してください。 2. 人口減少「緩和・適応」メニューが“列举中心”で優先順位が読めない 52ページで方向性は示すが、どれを先に・どれに資源集中するかが曖昧。KPIも分野横断での数値束ねができていない。分野横断で束ねるKPI（若者純移動×出生×就業 等）を設定し、優先度と配分比率を示してください。 3. 個別計画・予算に丸投げの構図は不可 「具体策は各分野の個別計画や年度予算で示す」と明記。最上位計画の段階としても、各計画に実効性と財源的な手当を行うために、主要プログラムと概算コスト、効果見込みのラフ案は必須と考える。最上位計画として、少なくとも上位5プログラムの概算事業費レンジ、期待効果、実施スケジュールを素案段階から提示してください。 4. ウェルビーイング指標の中身が不明 「指標でPDCA」とあるが、採用指標のリスト・算出元・公開頻度が示されていない。指標設計が曖昧だと、評価と修正が形骸化する。 採用指標リスト、算出口ジック、四半期更新等の公開ルールを明示し、ダッシュボード化してください。 5. 人口見通しケース提示止まり ケースを並べるだけで県がコミットするいついつまでにどうするのか、その数値目標が欠落している。2030・2035のコミット数値を明記してください。 6. 市町村・民間との実装設計が薄い 「共創」は掲げるが、誰がオーナーで、どの意思決定会議体で、いつ合意するか運用像が見えない。民間出身ならばお題目より具体的方策を示して欲しい。権限・採否基準・議事公開を明文化してください。 最後に、共創を掲げるのであれば、このようなパブリックコメント意見に対し、内容を踏まえ慎重に検討していく等の対応はやめ、採用と修正点、不採用理由等を一覧表示し公表されたい。
5	1 再チャレンジを促す（人づくり、社会経済システム） VUCAの時代と言われて久しく、人口が減少する中、多様な人材のエンゲージメントを刺激し、地域の社会や経済を発展させ、人々のウェルビーイングを高めていくためには、失敗を恐れずチャレンジし、たとえ失敗しても、それを糧として新たな価値を生み出していく取組みを促進することが必要。 失敗に対する寛容さや、再チャレンジを応援する仕組みなどを明らかにすることにより、チャレンジする県内外の人材が富山県をフィールドに選ぶインセンティブが高まるのではないか。 2 拡大する価値の循環（社会経済システム、人づくり） 以下のようなイメージの「価値の地域内循環」の重要性を、県民全体で再認識することを明確にしてはどうか。（海外の資源や域外からの通販などに頼る前に地域の価値を高めていくことが、価格高騰や経済安全保障の懸念を低下させ、人々の地域に対するエンゲージメントを高めていくのではないか。） 「地域の資源、産業、文化、インフラなどに光を当てる → それを磨き上げ活用することにより新たな付加価値を生み出す → 地域内の消費を高める（地域外へのマネー流出を減らす）+地域外から消費や投資を呼び込む → 生み出されたマネーにより、さらに付加価値を高める」
6	・ P3、P7 ④イノベーションの深化 グローバル化の表記について、両ページともすらっと読めない。 （中ぼつがないので、イノベーションのグローバル化でないことはすぐわかるが…） ・ P4 エssenシャルワーク業種の前に、「〇〇など」と例を挙げて欲しい。 （すぐに浮かばない人も結構いるのではないか） ・ P8 未婚男女の理想のライフコース（全国）のグラフが、価値観の変容、多様化を端的に表していてわかりやすい。 ・ P11 様々な要素で形作られた富山県地図が面白い。 ・ P14 「10年後の目指す将来像」という言葉が引っかかる ⇒ 「10年後の将来像」か「目指す将来像（10年後）」はどうか？（後出の「10年後の目指す姿」は問題ない） ・ P28 起業体験プログラム等への参加者数について、現状からすると目標700人はちょっと少ないか？800人？ ・ P32 「取組む企業」 ⇒ 「取り組む企業」（他は大丈夫です） ・ P34 県管理河川整備延長の目標428kmは少ないが、すでにほぼ整備済みということか？ ・ P40 「富富富をはじめとする」のところでは、富富富に「」をつけないのですね。 （P41では付けてますが。P42は付けなくて良いと思います。P50はどうか？） ・ 「年間の農林漁業体験者数を、約25%増となる10万人を目指します。」の表記がすらっと読めない。 （全体） ・ 計画全体が、“軽快で、とっつきやすく、親しみやすい”感じがします。軽快＝Lightというと軽い感じで重厚感がない、重みがないというような悪いイメージと思われかねませんが、一度作ったら減多に開かれない重々しい計画よりは、気軽に手に取れる軽い計画の方が今の時代にふさわしいと思います。ページ数も結構減るように聞いていますが、“軽快で、とっつきやすく、親しみやすい”計画とするには、ページ数の他にも、装丁や表紙などもポイントになるかと思っています。県民が老若難所問わず、気軽に手に取れる計画となることを祈念しています。

7	25-26ページの<心とからだの健康づくり>健康寿命の延伸・望ましい生活習慣の確立と改善を推進するとともに、生活習慣病の発症予防と重症化予防を徹底します。に関連して、特にタバコ対策について以下に意見・提案をさせていただきます。 受動喫煙をなくす願い：イエローグリーンライトアップの全県的な取り組みを （１）2024年４月から第三次健康日本21が開始され、貴県でも富山県健康増進計画（第3次）が進められているところです。 これら計画では、「健康寿命をのばす、健康格差をなくす」の基本目標のもと、タバコに関する実現目標として、喫煙率の低減、妊娠中および20歳未満の喫煙ゼロとともに、2032年度までに「望まない受動喫煙のない社会の実現」が掲げられています。これら４つの実現目標の中でも、喫煙者の禁煙を促すためにも、受動喫煙防止対策がとても重要です。 （２）ここ2～3年、世界禁煙デーでの「受動喫煙をなくす願い：イエローグリーンライトアップ（YGL）」の啓発が全国的に広がってきています。 ライトアップは、様々の疾病の予防や啓発でなされていますが、YGLは国民・県民の約85%の非喫煙者の健康を守るためにも、また喫煙者の気づきと禁煙を促すためにも、とても効果が期待される取り組みです。 （３）貴県でも、県+市町村、医師会、民間団体などが連携され、YGLへの全県的な取り組みを期待しております。 参考資料 ・世界禁煙デーのイエローグリーンライトアップ：受動喫煙のない日本への願い（目で見えるWH02025秋号） https://notobacco.jp/jstc/who2025au_nogami.pdf ・YouTube：いのち輝け「タバコ対策で健康寿命をのばそう！」のYGLの事例と意義の部分 https://notobacco.jp/jstc/osakaseminar2510.pdf https://youtu.be/8ioiZPcGZgw ・受動喫煙をなくす願い：イエローグリーンライトアップの各地の画像紹介 https://notobacco.jp/pslaw/YGL2025gazo_koukai.pdf ・受動喫煙をなくす願い：イエローグリーンライトアップのめざすもの、 https://notobacco.jp/pslaw/YGL2025gazo_koukai102-107.pdf ・受動喫煙をなくす願い：イエローグリーンライトアップ（ポスター例） https://notobacco.jp/YGLposter26.pdf
8	近年、エッセンシャルワーカーの担い手不足の問題が顕著に現れています。私自身の環境に置き換えて考えると、介護者の不足により親などの介護を自分たちでしなければいけない、除雪車の運転手がいなくなるにより道路などの除雪を自分たちでしていかなければいけない、といった問題が考えられます。そういったことに費やす時間が増えると、自分たちが本来しなければいけない業務などに時間が割けなくなってしまう、給与が低くなり、経済が回らなくなってしまうのではないかと考えています。そのため、現在給与が少ない職業へ給与の底上げやそういった職業に従事する人の人口が増えるような取り組みが必要だと思えます。
9	目指すべき将来像について、もう少し課題の分析が必要と感じています。というのも、既に看護師の不足や小中高の統廃合などが進んでおり、人口減少は加速度的に進むと予想しています。そのためにも、関係人口を増やすや外国人共生などの施策も推進しているものと認識です。 ですので、10年後の生産人口から推計される税収見込み、予測人口からのエッセンシャルワーカーの配分状況など、実際に置かれる厳しい現実を予測したうえで、具体策に落とし込みたいです。 さらには、個々の施策も重要ですが、教育・医療・農林水産業・産業・土木交通・観光、ともに連携して活性化できる複合した施策があるとさらなる武器になると感じています。 富山は豊かな自然は背景に、薬売りで財をなし、廃川地を利用した市街地形成、常西合口用水による安定した水田耕作など、農業土木および都市土木によって、明治維新、大空襲からの復興などを乗り越えてきたと思えます。今まさにコロナ後の新たな都市計画の転換期となると考えています。
10	主要施策の教育分野において少しでも若者の県外流出を抑制するため、県内で学べる高等教育機関の選択肢を増やし、県内就職につなげる教育課程を産学官で展開し、地域を活性化していく取り組みが必要。（地学一体での人材育成体制の構築）
11	・策定過程が丁寧で驚いている。県民の声を聴く「未来共創セッション」は素晴らしかった。 ・こどもが安心して自分らしく過せるためには、大人が同様に過ごせる基盤が必要。課題が多すぎる。 ・中高生が幸せに過ごせる環境が都会に比べ、富山県には乏しいように感じる。 ・学校における働き方改革はまだまだ進んでいない。教員が敬遠される職業になっている。悲しすぎる。 ・富山県の将来を担う子供たちを育てる教員が幸せにならないと、明るい未来は見えてこない。 ・県内中学生の中で、県外に進学している生徒が増えているのではないだろうか。魅力ある高校の再編成を希望する。
12	農林水産について：知事は常に「富山の寿司」について宣伝されていますが、ネタの魚は供給が不安定であり、近未来には絶滅するかもしれません。富山の魚を謳うには前例のない思い切った施策が必要になります。気候変動を考えますと、陸上における栽培漁業が最適と考えます。水産試験場においても大きな成果をあげられています。放流されるので、ほとんど海外の人たちが食する形となっています。海洋深層水は富山固有の財産なので、これと連携すれば成功するかと思えます。漁業組合等とも連携すれば面白い展開となると考えます。 産業・GXについて：産業競争力の強化を謳っていますが、従来通りの製造業一辺倒の各種施策と映ります。産業競争力強化についての技術商社に対する施策はない状態となっています。少し考えれば分かる事ですが、製造業は自分の製品しかユーザーに提供できません。それは生産工程の一部にしかすぎず、製造業同士がコラボしてもそれだけの狭い範囲に縛られるだけとなります。技術商社はあらゆる企業の製品に通じていますので、個々のユーザーに対して、他企業間の製品のユーザー最適化ができるのです。製造業におけるIoTやDX化が進んでいないのは、こういったことも影響していると思います。海外も大事とは思いますが、国内から固めていくには技術商社が行っている国内展示会等における費用補助等も考えていただきたい。（海外展示会は製造業向けなので、単品売りとなり、全工程に渡るIoT・DX化とは程遠い）
13	看板に偽りあり、である。 計画づくりの合言葉は「県民が主役」。ところが実際の扱いは「皆様のご意見は参考にします」の一文に尽きる。しかも個別回答はしないという。これでは“耳は貸すが、手は動かさん”に等しいではないか。 その上で“県民参加”の中身と言え、知事の説明と来賓の講演の後に、2時間ほどのグループワークを各地で回した「未来共創セッション」である。各回の定員は約30人。15市町村を回しても、せいぜい延べ数百人規模。富山県の人口は100万人を下回ったとはいえ、それでも桁違いに小さい“声集め”である（しかも各回2時間）。この薄いサンプルをもって「県民が主役」と胸を張るのは、いささか図々しい。 しかも、そのセッションの実際の流れは、（１）新総合計画の説明（知事）→（２）キーノート→（３）10年後を語るグループワーク。結局は用意した骨子の“お披露目”に県民を呼んだ体裁で、双方向の設計より説明会+お絵描きの色が濃い。これでは「共創」ではなく「追認」の呼び水に過ぎない。 極めつけは時間軸である。7～9月に“共創セッション”を回し、9/4にはもう審議会で素案を議題にかけている。10/3に素案を公表してパブコメを開始、期間は10/27までの約3週間強である。準備済みの素案に、短期のパブコメを添えて「県民の声は聴いた」という既成事実を積み進め方。順番が逆ではないか。先に素案を固め、後で意見募集では「参加」ではなく「事後承諾」である。 その一方で、肝心の中身はどうか。PDFの冒頭には「県民が主役の新しい富山県の未来を描き、県民とともに…」とある。計画は県政の“最上位”の羅針盤で、期間は5年。最上位計画をこの程度の“薄い参加”と“短いパブコメ”で仕上げるのなら、「主役」は県民ではなく庁内であろう。主役を名乗るなら、予算配分・優先順位・KPIに、県民の議論がどう反映されたかの可視化（どの提案を採用又は却下し、なぜかそうなったか）こそ先に出すべきだ。 私は60代の古い人間だが、計画は順番が要ると思っている。まず現場の声を広く・深く拾い、選択と集中を議論し、数字で目標（KGI/KPI）を据えてから、素案を起こす。素案は白地の部分も残しておき、パブコメで案そのものが動き得る設計にする。最後に、「どの意見をどう反映したか」を一覧で開示する。これでようやく「県民が主役」と言えるのだ。県民が主役を看板に掲げるなら、まず舞台に上げることだ。舞台袖に立たせて「声は参考にします」では、看板倒れ、見せ金、やった感の三重苦。採否理由の公開、反映率の数値化、次年以降も続く参加の場（常設の合議と公開ログ）を、至急今回から約束していただきたい。それができぬのなら、県民を主役と呼ぶのはやめた方がよい。
14	近年気象異状による漁獲高の減少が多くみられる中、空き家を活用する閉鎖式循環型養殖事業による漁獲量の安定化とブランディングによる県外への発信など計画性のある事業展開が見込めると思っています。また、我々事業者が生き残るすべとして多角経営を目指したときに漁業協同組合などと連携し、養殖事業のネットワークを作り、より良い養殖による生産物を作り上げれるのではないかと考えます。弊社では車エビの養殖に着手しようと思い、車エビの孵化をさせることから幼海老の放流をされている氷見の漁業栽培センターに向き、お話をさせていただきましたが、今年度で栽培を終了するとの話も聞きました。車エビは成長も早くバナメイエビに比べ単価も高く利益も出しやすいので養殖初心者にも向いていると思います。また、「寿司といえば富山」の新たな寿司ネタとしても面白いかと思います。また、ブランディングしてふるさと納税の返礼品にもできるのではと考えます。弊社では小規模での車エビ養殖をスタートさせようと準備をしています。ぜひ、富山市や富山県のご協力をお願いしたいと思えます。ぜひ、何かしらのご連絡をお待ちしております。よろしく願います。
15	日本国内世論が不法移民や特別技能・技能実習に伴う外国人実習生の脱走や犯罪行為に敏感となっている折り、これ以上の拡大は不要と存じます。是非廃止して下さい。企業や産業界・農業・医療機関が崩壊しようとも受入れ増はやめて下さい。我々富山県人いえ日本人は幾多の困難も乗り切ってきたはずです。必ず別の解決を導き出します。 まず、富山県という地方の特色を考えてみましょう。自宅の戸締りも甘く防犯装備も揃えておらず、白痴(良い意味で)の善人が多く性善説を唱え他人に寛容な高齢者の多い土地柄で、多数の外国人を受け入れた場合は何が起きますか？県の担当者は欧州での移民受入れの惨状を見ていないのでしょうか？それとも日本を破壊に導く工作活動をしていらっしゃるのでしょうか？ なお人道支援と称する移民政策は、共産圏の独裁国家ロシア、中国、北朝鮮の領土侵略の下地づくりに利用されている側面があります。かつて拉致被害を受けた我々北陸の民はこれをみすみす許してしまってもいいのですか？行政としてしっかり国防インテリジェンスを発揮するよう、切に願います。何卒宜しくお願い致します。
16	世界中で多文化共生に成功した国はありません。イギリス、フランス、ドイツやスウェーデンなどは移民により殺人や強姦などの凶悪犯罪が増加し、治安がとても悪化しています。女性や子供が真っ先に被害に遭います。スウェーデンは2026年から移民にお金を払って帰国してもらう方針になっています。多文化共生は廃止してください。

17	どこの市区町村でも問題となっている在留外国人との共生、不足している労働力としての移民受け入れ、もっともっと慎重になってください。札幌市は市民の反対に取り合わず、共生条例を決めてしまいました。 「県民の声」を大事にするとは謳っているならなおさらに反対意見と向き合ってください。外国人が日本に来たがる理由を深く考えたことがありますか？外国人は日本で日本人のようにまともな感覚で働いて生きていこうと考えてるのはほんの一部の人数ですよ。みんな今より自由になれるビザ、自分の国より優しい医療、緩い判定の福祉、インフラが欲しいから来ようとしてるんですよ。こんな人達が大量に来てたら、行政の福祉もインフラも食い潰されますよ。労働力不足とよく聞きますが、単に企業が労働力に見合った賃金を渋って、都合の良い安い労働力が不足しているってだけの現実です。働きたい日本人ちゃんといますよ。育ってきた環境も文化も価値観もまったく違う人種を安易に受け入れる危険性をもっと考えるべきです。日本が日本であるために目先の安い労働力と利権のために街を売らないでください。外国人に日本人のような性善説は通用しません。《削除》外国人との交流がしたいならもっともっと厳しい基準を設け、日本でちゃんと経済的に暮らせる層に限るべきです。《削除》パブリックコメントを設けているなら、こういう声が多いと思います。ぜひ慎重に検討しなおしてください。 県民の多くは外国人との共生社会など望んでないと思います。
18	近年日本全国で多くの外国人を定住させる施策が行われていますが、それは地元住民への十分な説明や理解を得た上で行われているのでしょうか？ 安易な外国人受け入れは治安悪化、税や医療教育福祉現場の負担、住民とのトラブル等多くのデメリットがあります。 これは先に多くの移民を受け入れた諸外国の例を見ても明らかです。 人手不足と言いますが、外国人材を受け入れる前に、他に出来る事は全てやったと言えるのでしょうか？ もっと地元民目線で、日本人の生活の安全向上をまず最初に考えていただけたらと思います。宜しくお願い致します。
19	他県より失礼します。在留外国人との共生社会を実現するための条例について反対致します。 ・県民の安心安全な生活・治安が守られることが最優先事項であるため。 ・在住以外に観光客等も含めた外国人の急増に伴い言語・文化の大きな違いから、トラブル・犯罪が増加しています。 不法難民・不法滞在の取り締まりを強化・厳格化し「日本人」が安全に生活していけるようにするのが最優先だと思います。
20	富山県が検討中の「在留外国人との共生社会を実現するための条例（案）」について、反対の立場から意見を申し上げます。 【反対の理由】 1. 県民の安全と治安の確保を最優先にすべきだからです。 外国人住民の増加に伴い、言語や文化の違いによるトラブルが各地で報告されています。まずは、既存の住民が安心して暮らせる環境を守るための具体的な対策が先だと考えます。 2. 県民への十分な説明や議論が行われていない点。 本条例案については、県民への情報提供や意見交換の機会が十分とは言えません。拙速な制定は理解不足を招き、将来的に大きな混乱を生むおそれがあります。 3. 「共生」の名のもとに、特定の外国人支援や優遇措置が拡大する懸念があること。 行政サービスや福祉支援は、まず納税者である県民のために公平かつ中立に行われるべきです。国籍や在留資格に関係なく、過度な優遇が行われれば不公平感が生じ、地域の分断につながりかねません。 4. 他の自治体で、同様の施策による地域摩擦が報告されていること。 全国では「共生条例」制定後、生活習慣や文化の違いによるトラブルが起きている例も見られます。富山県でも同様の問題が起きる可能性がある以上、より慎重な検討が必要です。 以上の理由から、本条例案には強く反対いたします。県民の安心・安全、そして公平な地域社会を守るため、十分な再考をお願い申し上げます。
21	在留外国人との共生社会を実現するための条例に反対します。政府はこれまで国会答弁や閣議決定で移民政策をとっていないって今まで何度も明言してきたので、事実上移民が始まっているのはおかしい。日本文化へ多種多様な文化の流入を強制する事、日本民族の他国の人々との同化政策、地域の景観や伝統文化を壊して日本の民族性を失わせる取組みである。 日本人の民族性への弾圧なので反対します。特定技能制度は外国人だけに受入れ企業に対して県が助成金を払うので外国人優遇政策であり、日本人差別である。地域を国際問題に巻き込む危険性がある事。もし、戦争中のイスラエル人とパレスチナ人、パキスタン人とインド人、中国人と台湾人が身近に住めば、住民間で抗争が起こる可能性や、人数が多くなれば暴動が起こる等、その国の人だけでなく母国の争いにも巻き込まれて都道府県が責任を取れない。日本で巻き込まれる。 台湾有事も想定されるのに、地域に国際問題を税金で誘致するのは流石におかしい。実際に日本人の派遣切りが始まっており、県や自治体からの助成金や補助金目当てに外国人を受け入れるトラブルが外資系企業なので起こっているそうです。富山県のお年寄りが外国人犯罪に遭う可能性もあるので反対します。
22	富山県内に親族がおります。 安易に外国人を定住させることに反対します。 外国人を増やすことよりも日本人の子供を増やすことに力を注いでください。 何故日本人の出生率が下がっているのか、それは賃金が上がらないのに税金は上がっていく一方で生活が苦しくなり、子育てに充てるお金がないからです。出産や子育てしている世代には税金を下げるとかお祝い金をあげるとか、出世率をあげることに税金を使ってください。 外国人を受け入れるなら、県民の1〜3%に留め、これ以上は増えないよう管理してください。 欧米では「可哀想」「労働力に」と移民を受け入れたせいで治安が悪化しており、今では移民は働かずホテル暮らし、政治にまでムスリムが入り込んでいる状態です。 数式的になんの計画もなしに受け入れ続けると、県議会にも移民が入り込んでくるでしょう。日本人は減る一方ですから、数年後には欧米のように移民に乗っ取られてしまいます。 労働力として受け入れるならきちんと管理をし、仕事に就かず難民申請や生活保護を申請するならば即刻お帰りいただく強い姿勢が必要です。生活保護を認めてはいけません。 また、犯罪は増えていくでしょうから、きちんと検挙、起訴していただき、法で裁いた後は強制送還してください。お年寄りや女性、子供が犠牲になるのは見たくありません。 私は埼玉でクルド人の不法滞在や犯罪を目の当たりにしています。 県や警察は動いてくれず恐怖しか感じません。富山にはそうなって欲しくないのです。安易に外国人を受け入れるのを中止してください。
23	全国に先駆けて多文化共生条例を制定した自治体は外国人犯罪が増え続け治安が悪化しています。(以下参照) ※群馬県…「多文化共生・共創推進条例」R3. 4. 1施行 『外国人が摘発者に占める割合は11%、5年連続で全国最高』群馬県警まとめ県内の全摘発者に占める外国人の割合は上昇し、19年にそれまで全国で最も高かった東京都などを上回った。23年は11. 1%を占め、全国(4. 8%) の2倍を超える。「摘発者の10人に1人が外国人」という特異な状況。(日本経済新聞2024年3月29日) ※静岡県「多文化共生推進基本条例」H20. 12. 26施行 外国人犯罪は平成4年から増え始め同7年には1234件で平成2年の約16倍となり、急増。同10年～12年も千件を超え、特に11年は1686件で過去最高。刑法犯で毎年最も多いのは窃盗犯で、平成元年から同12年で1年当たりの平均は、窃盗犯が約87%を占めた。そのほかは知能犯、凶悪犯、粗暴犯の順である。特別法犯で毎年最も多いのは入国管理法違反で、同様に12年間の平均は約87%を占めていた。(浜松市中央図書館デジタルアーカイブ→外国人犯罪の増加より) ※宮城県「多文化共生社会の形成の推進に関する条例」H19. 7. 11施行 村井県知事のイスラム土葬墓地整備・外国人労働者受け入れなどの発言に国民・県民が猛反発、その後土葬墓地整備は撤回と表明されるも反発は収まらず、1万7828人分の反対署名が県に提出された(2025/9/19)。また10/26の県知事選は、わずか1万5000票差で村井氏が逃げ切るも、仙台市で2位の和田氏の得票が上回る。※宮城県警HPには外国人犯罪のデータが示されていない。 ■全国で外国人が一番多い埼玉県川口市では、以下のアンケート結果が出ている。→『川口市「治安が悪い」市民の5割が感じる 前年から2割増、20代女性は7割 市意識調査』。川口市は、日本人人口が2024年は4千人減の一方、外国人は5千人増の4万8千人。 ■さらに問題がある。「ヘイトスピーチ解消法(本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律)」は、“本邦外出身者”を対象としている時点で全く使い物にならない天下の悪法。日本の法律なのに日本人を守る気がまるでない。自治体でこのような条例が制定されれば、日本人が何も言えなくなり、日本人への差別につながります。 以上から、多文化共生条例を制定した自治体は治安が悪化しており、川口市のように日本人の転出が止まらない。外国人を入れれば一時的な人口の増加と安価な労働力は確保できる。しかし、実態は共生にはほど遠い。日本は、治安の良さを失ったら何も取り柄がない。悪化した治安は後悔しても戻りません。多文化共生条例の制定に、反対します。
24	素案の「06人材活躍・共生」に掲げている「多文化共生と外国人材活躍による活力ある地域づくり」に反対します。 ・「地域における相互理解の促進」に反対します。外国人が増えれば、既存の県民が外国人に一方的に理解を示すことを強制されかねません。日本語が分からず、日本の文化やマナーも理解していない外国人に、受け入れてからいくら教えても絶対に守られません。地域においては、ゴミや騒音など、様々な問題が既に発生しています。全国的な惨状を知事もご存じのはずです。 ・「企業における受入・定着に向けた支援」に反対します。これは実質的な移民政策です。外国人が企業に定着すれば、いずれは家族帯同の定住、外国人人口の増加に繋がるのは必然です。それによる治安の悪化が避けられないのことも欧米の先例からも明らかです。国が解決策を国民に明示できていない以上、都道府県レベルにおいても移民政策は進められません。 ・「県内児童生徒のグローバル意識の醸成を図ります」に反対します。グローバル意識を持つか持たざるかは個人の思想の自由です。治安の点やマナー、文化、宗教の違いなど、様々な面から外国人を受け入れたくないという人も大勢います。大人でさえ考え方が異なるのに、なぜ児童生徒にそのような思想を強制できるのでしょくか。戦時中のような思想の統制・強制は絶対に許されません。 ・「在留外国人との共生社会を実現するための条例(仮称)」の制定に反対します。このような理念条例で県民を縛り、移民政策を浸透させようとする姑息なことはやめてください。一体どのような立法事実に基づいてこんな条例を制定をするつもりなのでしょうか。日本人である県民に努力義務を課す前に、そもそも「多文化共生」の是非について県民の意見をきちんと聞いてください。 以上のことから、本件総合計画から外国人共生に関する部分の削除を強く求めます。

25	ヨーロッパを見ればわかるとおり過度の外国人受け入れには反対です。 私は富山の自然や食が好きで何度も観光で訪れてますが、今後外国人が増えていくなら京都のように日本人の観光客も減っていくと思います。
26	この計画は、富山県の持続可能な発展を目指すものであり、多文化共生を社会の活力源として位置づけていますが、私はこれに強く反対します。理由として、日本全体で移民受け入れの拡大がもたらす深刻な問題を挙げます。これらの問題は、富山県のような地方部でも同様に発生する可能性が高く、県民の生活基盤を脅かすものです。以下に5つの具体的な問題点を挙げ、根拠を交えて説明します。 1. 治安の悪化 移民の増加は、犯罪率の上昇を招き、地域の安全性を損ないます。法務省の『犯罪白書』（令和6年版）によると、2023年の外国人による刑法犯検挙件数は1万5541件で、前年比20.0%増加しています。日本人の検挙率（人口1,000人あたり1.47人）に対し、外国人は2.39人と高く、特に窃盗や粗暴犯が目立ちます。また、2025年10月26日には全国同時デモが予定され、山形、栃木、東京、大阪などで移民政策反対の声が高まっており、こうした不安が地方でも広がっています。富山県でも、外国人労働者の急増が同様のトラブルを引き起こす恐れがあり、安心して暮らせる地域づくりとは逆行します。 2. 日本各地での移民反対運動の活発化 日本全国で移民受け入れに対する反対運動が相次いでおり、社会的分断を助長します。2025年8月にはJICA本部前で「アフリカ移民反対デモ」が発生し、ホームタウン事業の撤回を求めました。また、参議院選挙では参政党が「日本人ファースト」を掲げ躍進し、移民政策の見直しを求める声が強まりました。千葉県木更津市や埼玉県川口市でのデモも続き、SNS上で「移民促進は治安悪化の原因」との情報が拡散されています。富山県が多文化共生を推進すれば、こうした全国的な反発が県内にも波及し、県民間の対立を招く可能性が高いです。 3. 外国人による土地購入の拡大 外国人の土地取得が国家安全保障を脅かし、地域資源の喪失を招きます。日本では外国人による不動産購入にほとんど規制がなく、世界196カ国中、日本だけが自由に売買を認めています。特に中国資本が54.7%を占め、北海道ニセコ町や長崎県対馬で土地買収が進み、オーバーツーリズムや税収流出の問題が発生しています。2023年度の重要施設周辺土地取得では、中国が最多で、WTOのGATS協定により規制が難しい状況です。富山県の豊かな自然や農地が標的となり、県民の生活圏が脅かされる恐れがあります。 4. インフラの過度な負担増大 外国人増加によるインフラ需要の急増が、税金の無駄遣いを生み、既存住民の生活を圧迫します。福岡市などの事例では、外国人急増で住宅・医療・交通インフラが逼迫し、言語対応や相談窓口の不足が問題化しています。全国的に見て、外国人労働者の受け入れで、医療保険制度の不明瞭さや住宅確保の遅れが社会コストを押し上げています。富山県のような地方では、こうした負担が財政を圧迫し、高齢者福祉や防災インフラの維持が難しくなるでしょう。 5. 社会保険制度の「タダ乗り」問題 外国人による社会保険の過度な利用が、日本人の負担を増大させています。外国人労働者は日本人と同等の健康保険・年金加入義務がありますが、帰国後の脱退一時金制度で保険料の一部を払い戻し可能であり、短期滞在者の「掛け捨て回避」が問題視されています。国民民主党の公約でも「社会保障の運用適正化」が指摘され、外国人増加で医療・年金制度の持続可能性が脅かされています。富山県では、子育て支援や高齢者福祉が充実していますが、こうした「逆差別」が県民の不満を募らせ、多文化共生の基盤を崩す要因となります。 以上のように、多文化共生の推進は、富山県の「幸せ人口100万」というビジョンを達成するどころか、県民の生活を不安定化させるものです。計画の見直しを強く求めます。政府は欧米の移民失敗事例を教訓に、外国人受け入れを厳格化すべきです。富山県は、まず日本人中心の地域づくりを優先し、持続可能な発展を図るべきです。この意見を基に、計画の修正を検討いただきますようお願い申し上げます。移民政策でめっちゃくちゃになっている大阪のようにならないでください。移民に破壊され尽くしているドイツ、フランス、イギリスといった欧州諸国の惨状から目を背けないでください。
27	私は日本国憲法 前文および第1条を根拠に、国民主権＝設計権の行使者として本状を提出します。 これは請願・要望ではなく、国民主権に基づく**設計指示**です。 【対象】 富山県「多文化共生社会づくり推進計画」 および「外国人材活躍によるまちづくり」関連事業 【趣旨】 これらの施策は「共生」や「多様性」を目的としていますが、実際には外国人の恒久定住促進・宗教的配慮・文化的制度変更などを含み、県民の生活・治安・教育・文化環境に長期的影響を及ぼす恐れがあります。 また、政策策定過程において県民の意見聴取や認知がされておらず説明不足の可能性があり 【指示】 1. 富山県における「多文化共生」関連予算・事業・補助金・委託契約の全容を整理し、県民が閲覧可能な形で公文書として公開すること。 2. 外国人材活躍推進の名のもとに、宗教的・文化的配慮を名目とした制度改変（例：礼拝配慮・休日制度等）を行わないこと。 3. 県民の生活・教育・安全・文化への影響を定量的に調査し、外国人増加に伴う課題（住宅・交通・医療・治安等）を県として明示すること。 4. 総合計画やまちづくり施策における国籍別人口比率・税収・雇用構造の変化を公開し、将来予測を基にした検証を行うこと。 5. 上記の情報公開および富山県民の皆様の説明を、2026年3月末までに実施し、結果を公文書として記録・公開すること。 【確認・記録】 本指示は、憲法第1条・第13条・第25条・第92条に基づく国民主権の行使であり、行政は主権者である国民に対して説明責任を有します。 よって、富山県における本件の政策実施に際し、県民の意思を尊重した再検討・修正を強く指示します。
28	内容：在留外国人との共生社会を実現するための条例に反対です。 今、こういった条例を制定しているところも増えてきましたが、反対意見が多いです。 多文化共生を先に行ったイギリスの現状は知っていますか。窃盗、殺人、レイプが軒並み何倍にも増加しています。 外国人を入れてしまっってはもう元に戻す事はできません。 今いる子供たちのためにも安心して過ごせる町を残してください。未来を思い描いた時に夢が持てるような町にしてください。
29	欧米諸国では移民のムスリム・黒人増加による犯罪、政治の乗っ取りが問題になっています。 政府から補助金が出るからと安易に外国人を増やすのは、大変危険です。 外国人人材を使うためには、まずシンガポールの様に法整備が必要です。 元々いる富山県民の権利がしっかり守られ、職を得られ、安全が確保されてからはじめて外国人を入れられる環境であるといえると思います。 人口についても、安易に外国人に頼ればそちらの方が遠慮のない多数派になってしまい、イギリスのような悲惨な状況になる可能性が高いです。 シンガポールの様にあくまで労働者として、妊娠・健康の問題で働けなくなれば来る際に雇い入れた企業負担で帰国してもらう。ブルーカラーの永住権・家族帯同は絶対に認めない。は、徹底すべきで、外国人の不法滞在、生活保護を受けて暮らすなどはない状態を目指すのが健全です。 今、外国人問題は全国的なものとなっています。 ぜひ県からも、外国人受け入れのための法改正を、国に要望していただきたいです。 富山県民を守ることでできる法律が整うまで、担い手として外国人は入れるべきではないです。
30	パブリックコメントに返信するのは初めてだが、はっきり言って県内がこれだけ振り回されてる現状下に周回遅れの施策提示して何考えてんだと言いたいわ。 こんな周回遅れの施策は提示した時点で既に娑婆の流れに追いつかないクソ以下の案件が使えないか何れかだろう。 こう言う馬鹿げた代物を集める前に負担が大きい社保料や税金に対してどう軽減策を講じていくのか 実のある議論なら行いたいと思ったがこの案件じゃ似つかわしくないので使えない代物に掛ける時間は無い これだけは言うておく。以上
31	本件お意見にふさわしいかわかりませんが、インフラの一環として当地区にあった信用金庫支店がなくなり、農協支所も本所に集約されました。地区にあるのは郵便局だけです。6キロ先の市街地まで交通機関も不便になって困っています。郵便局もなくなると大変困ります。民営化になったことから心配しています。
32	在留外国人との共生社会を実現するための条例に反対します 共生は無理です
33	私は外国人を受け入れ在留させるためのすべての条例、政策に反対です。 日本人子働き世代が重い社保税で子どもを諦めている現状、人手不足は待遇不足である現状を考えますと、少子化や人手不足を安易に外国人労働者で埋める前に行政として出来ることがあるのではないかと感じます。 外国人を入れる方に税金を使うと、一部の大企業や斡旋業者は利益を得ますが、庶民は治安悪化・社会福祉逼迫のリスクと増税のデメリットを被ります。 しかし、住民のみなさんはそのことをきちんと周知され、理解出来ているのでしょうか？行政は社会的合意に基づいて行われるべきで、外国人在留のリスクやデメリットをきちんと説明した上で民意を問う誠実さが求められていることだと思っています。
34	国民主権の行使に基づく指示 憲法第1条に基づき設計変更を指示します 在留外国人との共生社会を実現するための条例中止 名称変更等ではなく中止、廃案を指示します
35	先日、近所の大学病院で車いすに乗ったおばあちゃんを連れた年配の女性が、《削除》の若い女性に超至近距離で怒鳴りつけていました。間に入って話を聞くと、都合が悪くなると「日本人は心が狭い」「私日本語わからない」などと言って聞く耳持ちません。こちらを負けずに怒鳴りつけたり、公権力をちらつかせる以外言うことを聞かせる方法はありません。最終的には警備員に追い出されていました。近所の公園では《削除》の子供が順番を守らず、押したりするので子供同士でもトラブルになっています。親は全く注意する気配はなく「馬鹿」だのなんだの罵ってきます。 以前マンションの下階に住んでいた《削除》家族は、毎晩大きな声で怒鳴り合い、エレベーターのドアを思い切り蹴り飛ばしたり子供を外に放置したりしていました。毎晩怖かったので引っ越しました。知り合いの賃貸物件ではゴミだらけ、汚れだらけで退去して音信不通だそうです。もう外国人には貸さないと断っていました。 知人の子供が通う保育園では、全く躾のされていない《削除》の男の子が毎日誰かしらを叩く、噛む、蹴る、髪を引っ張る等暴力行為をしています。保育士さんも強く出られず、泣いて退職するレベルです。 共生は無理です。何故なら相手方に共生する気がないからです。今挙げた例は全て中国人ですが、恐らく中国人でもまともな方です。富裕層でこれです。まともな外国人は一部上場などの大企業に勤めています。《削除》 日本の子どもたちの未来のために、共生などと言うことは考えず、日本人だけで頑張るべきです。被害が出てからでは遅いです。

36	昨今、外国籍の方々の問題が多発している中で、更に増やすような事をすれば、現在住んでいる方々に被害が及ぶ可能性があるのではないかという懸念があるので意見させていただきます。 現在、北海道や埼玉などで外国籍の方の問題がありますが、ご存知でしょうか。最近ではアフリカ・ホームタウンや九州、茨城などで外国籍の方々を呼び寄せる多文化共生を推進し始めていますが、技能実習生でさえ1年間で約1万人が行方不明になっている現状はどのようにお考えでしょうか。 しかも、ホームタウンに認定されたアフリカの国々は渡航危険度も高い場所ばかりでした。 また、多文化共生を進めていた欧米で、現在どのようなことが起こっているのか、知っているのでしょうか。幼いお子さんが、暴漢され殺害されたり、普通に歩いていただけなのに、突然暴力を振るわれたりしていることが起こっていますが、多文化共生をこのまま推し進めるのであれば、日本も欧米の二の舞になる日が来ると思いますが、それも承知の上で進めるのでしょうか？ 現在もテレビでは報道しない時もありますが、犯罪も増加し、平和な日々が壊される可能性を含んでいると思いますがどうお考えでしょうか。 例えばですが、万が一イスラム教徒の方が増えた場合には、他の地域で問題になっている、土葬やハラール食、豚肉の使用の禁止や、外国ではやらない1日に5回の礼拝、犬はイスラムでは不浄の動物のことなので、散歩するのも危険が及ぶかもしれません。 一度入れてしまえば、多産ですから、人口はひっくり返ると思いますがその辺りも承知してますでしょうか。全ての方々を入れるなどとは言いませんが、日本の法律を守らないような人々を入れることには反対します。日本と日本人を尊重しないような多文化共生は、あってはならないと思います。宜しくお願いします。
37	富山県の新たな総合計画（素案）を拝見しました。「多文化共生」や「外国人との協働」が当然のように盛り込まれていますが、現行の政策や社会状況を踏まえると、この方向性には強い懸念を抱きます。 地方が本当に守るべきは、地域に根を下ろして暮らす日本人家庭、特に子どもを育てる世帯への支援ではないでしょうか。 多くの自治体が「外国人との共生」を掲げながら、実際には外国人を受け入れるだけ受け入れ、一定の支援を行った後は、彼らがより待遇の良い都市部へ移ってしまうという現象が起きています。つまり、地方の労働力確保や人口定着の観点からも「外国人育成」は持続的な地域活性化に結びついていません。 その一方で、地元で子どもを育てる日本人家庭は、家賃や教育費の負担に苦しみ、地域から離れざるを得ない状況も見受けられます。兵庫県明石市では、所得制限なしで子育て支援の無料化を進めるなど、自治体独自の政策で全国的に注目を集めています。明石市は「住居優遇」までは行っていませんが、自治体レベルでも独自の支援を実現できるという前例を示しています。 富山県も「共生」や「受け入れ」を進めるより先に、日本人の子どもを育てる家庭が安心して住み続けられる環境をつくることに重点を置くべきです。具体的には、子育て世帯への住宅支援や、若者夫婦の移住・定住に対する補助を拡充するなど、日本人の将来世代を支える政策に力を注ぐべきだと考えます。 「多文化共生」は耳触りの良い言葉ですが、根本の目的は“持続可能な地域社会”の形成であるはずで。その主役は、まず日本人の家庭であり、次代を担う子どもたちであることを、県として改めて認識していただきたいと思います。
38	新たな富山県総合計画の素案の33ページ、06 人材活躍・共生に記載されている、「多文化共生と外国人材活躍による活力ある地域づくり」、「在留外国人との共生社会を実現するための条例(仮称)の制定」に強く反対し、削除・撤回することを強く求めます。 文化、価値観の違いや宗教の問題で、外国人によるトラブルや犯罪が増加し、治安が悪化する可能性が高いです。埼玉県川口市が良い例です。外国人による迷惑行為や犯罪のせいで、地域住民との間に軋轢が生まれている地域もあり、富山でも同様の問題が発生する可能性が高いです。 宗教の問題に関してですが、宗教によっては、自分達の信じる教え(または神)が全てであり、他のルールや文化を受け入れないというものもあります。埋葬方法も日本のルール上、アウトなものもあります。 もしも、お互いに文化やルールが受け入れ合えるのであれば、ヨーロッパも川口市(川口市だけでなく、他の市町村もです)もあんな惨状にはなっていないでしょう。他の地域や国の事例を見て、現実には多文化共生など土台無理な話だということが、なぜ分からないのでしょうか？ヨーロッパは勿論、あのアメリカですら移民を受け入れない方向に舵を切っています。今、世界で移民を歓迎する国はありません。日本だけがこんな2～3周も遅れたことをやっているんです。つい最近あったJICAのホームタウン構想も、抗議の声が上がって白紙になりましたよね？国民は多文化共生なんぞ望んでいないんですよ。 私は、安全な富山のままであって欲しいです。外国人が入ってきて、迷惑行為や犯罪、トラブルが日常茶飯事で、子供や女性が1人で歩けない富山なんかになって欲しくありません。 以上のことから、「多文化共生と外国人材活躍による活力ある地域づくり」、「在留外国人との共生社会を実現するための条例(仮称)の制定」に強く反対し、削除・撤回することを強く求めます。
39	数や量を重視する古い体制から脱却すると言いながら、労働人口が減少してるから外国人労働者受け入れて補填しますというのは矛盾している。 ここは日本なので真面目に税金を納め続けてきた日本人だけで社会を維持出来る方法を模索するべき。 多文化共生はリスクとコストが高すぎる。しっかりした法整備無しには進めるべきでは無い。 元々住んでいる日本人には我慢を強いて、後から入ってくる外国人に優遇するのは納得いかない。移民政策で成功している国は世界中探しても何処にも無い。
40	外国人の受入、定住を推進して人口を増やすとおっしゃいますが、翻訳機器だけでは対応できませんよ。人口減少は問題ですが、まず日本人の移住推進を九州を見習ったらいかがですか？ せっかくの自然に恵まれた土地に、どんどん異文化が入ってくるということは、土葬も受け入れる、土、水が汚染される、将来住めない土地が増えるということになりませんか？外国人を受け入れるということは、文化も丸ごと受け入れるということです。宗教観が違う人々を受け入れて、大変なことになっているヨーロッパの状況の勉強をしてください。イスラム教の勉強をしてください。良い外国人と悪い外国人の区別なんて見た目じゃ分からないんですから。 何でも受け入れる無宗教の日本人とは、全く違う人々を受け入れるってことが、どれだけ危険なことか、理解してる人が、いらっしゃるのですか？ 「人口減少の歯止めのために、外国人」って安易に考えてると、《削除》ということです。 千葉も、随分と外国人が増えてきて、駅前でも歩けなくなりました。怖いので、普通に。田舎になればなるほど、連れ込まれる可能性も大きくなります。交通事故が起きて、相手が外国人で無保険のケースが多く、逃げられて、全部被害を被った友人もいます。 簡単に「外国人受け入れ」と、先走らないで、あらゆる事を想定して、やめたほうが良いと思います。 他県の間人ですが、美しい富山を汚されたくないの、意見させていただきました。長文失礼いたしました。
41	富山県の「在留外国人との共生社会を実現するための条例」制定に反対します。 全国に先駆けて多文化共生条例を制定した自治体は外国人犯罪が増え続け治安が悪化しています。
42	新田知事はNAGOMiの特別顧問をしておられますが、こちらは外国人材受け入れの支援をしているのでしょうか？ 現在、日本中で移民の受け入れ、外国人問題について見直しがされるような状態で大変危惧しております。 外国人にとって住みやすい土地にしてしまうとその国の仲間を呼び気がついたらあつという間にある地域がその人種だらけになり治安が悪化し日本人が住みづらくなる例が世界中でも起きています。 多くの富山県民は外国人を増やしてほしいとは思っておらずなるべく日本人で安心して住んでいたいと考えています。 移民推進派の知事だとそのうち敬遠されるようになり通らなくなってくると思います。 現在、北海道ではメガソーラーによる環境破壊問題、外国人を大量に受け入れる住宅地の建設などの問題で知事退任を要求するデモがどんどん大きくなっています。 人口減少を移民で人口減を賄うのはどうかおやめください。よろしくお願いします。
43	在留外国人との共生社会を実現するための条例（案）に反対します。 ヨーロッパ諸国での移民政策は失敗しており、多文化共生が成功した国は存在しません。治安悪化や福祉の圧迫など負の側面が多いことは明らかです。 性犯罪の増加も懸念され、富山県の良さが失われます。 川口市の例を見ても治安が悪化し、住みたい街ランキングから転落しました。一度悪化した治安は元に戻りません。 多文化共生は住み良い街を壊すことに繋がります。 外国人犯罪件数は増えてないとメディアは発表しますが、強盗、殺人、強姦等の凶悪犯罪に限定すれば増えています。 これらをふまえて多文化共生条例には反対します。
44	富山県が多文化共生を進めるとききました。外国人を増やすことは摩擦を増加させ、住民のストレスが増加します。住民のストレスは間違いなくあなたたち行政に向きます。外国人の対応も大変になり、治安も悪化します。川口やニセコを見て、多文化共生なんてものが幻想であることを知ってください。
45	外国人が増える、定住するのを阻止しよう。文化、常識、価値観の違いは消せない。治安悪化、日本人の仕事を奪われる。 英国、スウェーデン、仏国、独国…の惨状を見て下さい。
46	在留外国人が増えて行く現状が怖いです。 人口減少で致し方ないのも、分かってはおりますが、やはりそれを県民に条例までつけて強制させるのは少し心苦しく思います。 雇う会社内でそのような对在留外国人の接し方などの講義や在留外国人に対して、日本の交通のマナーや、常識を講習する分にはわかるのですが、なぜ県民までそれを強要されなくてはいけないのでしょうか？個人的にはやはり多文化である以上、分り合えない部分はあるとは思っています。 県民もそのような希望した方にのみ、講習を開いたりするのは良いと思いますが、県民みなにそれを強制や努力義務を強いるのは違うのではないのでしょうか？ 「郷に入っては郷に従え」のことわざの通りきっちり在留外国人としてやってくる方々を精査し、教育することに力を入れる方が県民の方も納得されるのではないのでしょうか？正直マナーが悪い外国人もたくさんいらっしゃいます。元が他民族国家ではなかった国なのに、外国人が増えるとそれを嫌と思うのは、しょうがないことだと思うのです。 長々と書かせていただきましたが、県民に在留外国人と仲良くしようと、条例で定めるのは間違っていると思います。またそこに割く労力、税金があるのであれば今富山で働いていらっしゃる在留外国人の方々に教育を施すほうに使った方がよいと思います。(外国人同士のコミュニティもあれば心の安定につながるかもしれません) 最後に、あまり私は外国人には増えてほしくないと感じています。人口減少はもう止められませんが、外国人にしか頼れないと視野を狭く見るのではなく、もっと他のやり方でやっていただきたいと切に思います。

47	反対です。 今、世界的問題となっている移民問題・外国人問題に富山県が積極的に行動することは、県民の不安を煽ることになります。目的が違うことは十分にわかっているつもりですが、治安や税金の使い道など、徹底的に理解を得てから実行に移すべきです。
48	今現在日本各地で移民の受け入れ問題について問われています。 海外、主にヨーロッパでも既に起こっており、大勢の移民が入ってきたことにより先住民が生きにくい世界になっています。富山県及び我が国では同じようになっ てほしくありません。 なので、日本の文化を守りそして日本国民を守る政策を推し進めていってほしいです。 自分の住む自治体でも同じことが起こりそうになった場合は必ず止めたいと思っています。
49	富山県が検討している「在留外国人との共生社会を実現するための条例（案）」に反対します。 【理由】 1. 県民の安全と治安の確保が最優先であるため。 外国人住民の急増に伴い、言語・文化の違いからトラブルが増加している地域もあります。
50	件名：在留外国人との共生社会を実現するための条例（仮称）に対する反対意見 本文：私は県外に住む者ですが、今回の「在留外国人との共生社会を実現するための条例（仮称）」の内容に強い懸念を抱いており、条例の制定には明確に反対いたします。地域外から見ても、以下の点は全国的にも深刻な問題になり得ると考えます。 1. 治安悪化の懸念 — ヨーロッパの失敗を繰り返すべきではない ヨーロッパでは移民政策の拡大により、治安の悪化や地域社会の分断が進み、行政の対応が追いつかなくなった国が多数あります。 多文化共生の理念は立派ですが、現実としては文化・宗教・生活習慣の違いから摩擦が生じ、犯罪率の上昇や社会不安が拡大した例が多く見られます。日本の地方都市が同じ道をたどることになれば、地域の安全・安心が脅かされるのは避けられません。 2. 日本固有の文化・慣習が失われる懸念 日本の地域社会は、長年にわたり礼節や助け合い、地域行事などを通じて文化を継承してきました。 しかし、多文化共生を名目に外国の価値観や生活習慣を優先するような施策が進めば、日本独自の文化や伝統が軽視されるおそれがあります。 地域の子どもたちが日本の文化に触れる機会が減り、「自国の文化に誇りを持たない世代」が育つことを強く危惧します。 3. 行政・財政への過大な負担 翻訳機器や外国人支援のための行政サービス拡充には多大なコストがかかります。限られた予算の中で、まず守るべきは既存住民の福祉・教育・防災体制であるはずで す。共生の名の下に、地域住民の負担が増すような制度設計は本末転倒です。 4. 結論 県外に住む立場から見ても、このような条例が全国に波及すれば、日本全体の治安や文化的調和が損なわれる可能性があります。 地域の将来を真剣に考えるなら、理念先行ではなく、まず現実的なリスクを直視し、十分な検証と議論を重ねるべきです。 以上の理由から、私は「在留外国人との共生社会を実現するための条例（仮称）」の制定に強く反対いたします。
51	外国人受け入れについては断固反対します 他県の状況を見ると日本人になろうとする外国人より自己主張する外国人の方が多いです 迷惑行為も横行しています 治安は確実に悪くなります こんなの税金使うより富山県人に税金使って貰いたい
52	外国人材の受け入れ・多文化共生とのことですが、欧米の社会情勢や埼玉県川口市の現状から住民の方たちは不安を抱えています。 移民を受け入れることは人口減少等の解決になるどころか新たな問題を抱えることとなりかねません。 どうか県民のみなさんの声をしっかりと聴いていただきたいです。よろしく願いいたします。他県からも心配しています。
53	富山県に関わらず人材不足といわれる昨今であります。私はその評価に懐疑的です。安い給料で働かせられる人材が不足しているだけで、賃金が上がれば日本人の働き手も見つかる と考えています。企業が賃金を上げるために行政がやるべきは減税です。民間の人材不足について行政が税金を投入する必要はない と思います。多文化共生についても行政の仕事ではないと考えます。必要に感じれば民間で行われるでしょう。行政が優先すべきなのは安全を守ることです。富山県が入れた外国人を責任を持って管理できますか？不法滞在者にならないとも言い切れないでしょう。人間は移動します。富山県だけの問題ではないので す。 外国人材を入れる前にできることがあるのではないですか？見直しをしていただきたく思います。
54	富山県が検討している、「在留外国人との共生社会を実現するための条例（仮称）」に反対致します。 【理由】 1：富山県民の安全と富山県の治安の確保が第一の優先だから。 外国人住民が急に増えると、言語や文化の違いからトラブルが増加している他県の地域も多くあります。まずは元から住んでいる地元住民の安心と安全を確保する事を第一に考え、具体的な対策が必要です。 2：県民への十分な情報の提供と議論が行われていないから。 今回の条例案について、県民への説明や意見交換の場が充分ではありません。急いだ制定は県民の理解を得られないまま、将来に地元住民と外国人との間に禍根を残してしま います。 3：「共生」のを口実に、特定の外国人支援や優遇措置が拡大する懸念があり、特定の宗教への配慮に至っては憲法の政教分離などにも反しているから。 行政サービスや福祉支援といった事は、まず納税者である県民を第一に公平かつ中立に行われるべきです。国籍や在留資格に関わらず、過度な優遇が行われれば不公平感 が生じ、地域分断を招いてしまいます。 4：他所の自治体で同じような施策が原因で地域摩擦が起きているから。 全国各地でも「共生条例」が制定された後、生活のルールや文化摩擦による住民のトラブルが報告されています。富山県でも同じような懸念がある以上、迅速に決 めずに慎重な検討をすべきです。 以上の理由から、「在留外国人との共生社会を実現するための条例（仮称）」には強く反対致します。富山に住む県民の安心と安全と公平な社会の維持を思い、私はまだすべ きでないと思います。
55	富山県が今後、人口減少対策として「外国人活躍」や「多文化共生」を推進していく方針を示していることについて、懸念を持っています。 まず、多文化共生という理念自体は理想的に聞こえますが、現実には「外国人が地域社会に溶け込み、共に支え合う」という形が十分に機能していないのが実情です。多 くの外国人は、共生よりも自国コミュニティ内で生活を完結させており、「共生する意志」や「地域社会への理解」を持たないケースも見られま す。その結果、地域の秩序や文化が徐々に変質し、住民との摩擦やトラブルが増加している自治体も少なくありません。 他国の例を見ても、移民政策は成功よりも失敗の方が多く、治安悪化や教育現場の混乱、地域コミュニティの分断など、多くの課題を生んでいます。富山県が同じ道を歩 まないよう、十分な検証が必要だと思 います。 また、外国人の受け入れ拡大によって、公営住宅の入居や公共機関（学校・役所・医療機関など）のリソースが外国人対応に割かれ、日本人住民へのサービスが後回しに なる「逆差別」的な状況も懸念されます。限られた税金や人員をどのように配分するのか、慎重な検討が求められます。 人口減少への対応は、外国人労働者の受け入れだけに頼るべきではありません。AI・自動化・ロボット技術の活用により、省人化を進めることも可能です。また、地 域の魅力を高め、若い日本人が富山で働き、暮らしたいと思える環境づくりこそが、持続的な地域の発展につながる と考えます。 短期的な労働力確保や補助金制度に目を奪われず、これからの日本を担う子どもたち・学生たちが誇りを持って暮らせる富山県をどう残すかという視点から政策を見直 していただきたい と思 います。
56	・他の自治体で同様の施策が原因で、生活ルールや文化の違いによる住民トラブルが報告されています。 外国人住民の急増に伴い、国を同じくする人々で生活圏を作るようになり、既存の住民が我慢せざるおえない状況になっている地域もあると聞きます。外国人住民が増えることは、既存の住民の安心・安全を損なうことに繋がりがねません。まずは地域住民を守る対策を優先してください。 「共生」の名のもとに、特定の外国人支援や優遇措置が拡大する懸念があります。行政サービスや福祉支援は、まず納税者である県民のために公平・中立に行われるべきです。国籍や在留資格に関わらず、外国人住民に過度な優遇が行われれば不公平感が生じ、地域分断を招く と思 います。 以上の理由から、本条例案には強く反対いたします。県民の安心・安全と公平な社会の維持のため、十分な再検討を求めます。 ・外国人との共生社会を実現させる、というのはそもそも不可能ではないかと思 います。 富山県を含めた日本の文化、習慣、マナー、法律を理解して、それを受け入れ合わせてくれる外国人となら共生は可能かと思 いますが、全ての方がそうとは限りません。日本の各地域でも外国人が増えて いる地域は、その国の文化やルールで生活されてしまうため地元住民との軋轢が生まれ問題になっていると聞 きま す。実際に見たことはありませんが、今の時代、ネットやSNSで容易に知ることができます。海外でもそうです。ヨーロッパが移民問題で大変なことになってい ま す。共生に成功している国などないのです。どうして失敗から学ぼうとしないのですか。 私は富山県、そして日本が大好きです。平和で安全な日本という国を、子や孫の世代にも残していきたい、そう考えています。人口減少という問題があるの は わかりますが、外国人を増やして解決する問題ではないのです。日本人が増えないと意味がありません。外国人が住みやすい富山を作るのではなく、日本人が安心して生活し、子供を持てる、そんな世の中を作ってください。 以上のことから、私は「在留外国人との共生社会を実現するための条例」の制定に反対します。

57	富山県が検討している「在留外国人との共生社会を実現するための条例（案）」に反対します。 【理由】 1. 県民の安全と治安の確保が最優先であるため。 外国人住民の急増に伴い、言語・文化の違いからトラブルが増加している地域もあります。 私が住んでいる岡山県では知らない間に条例が制定されました。本当に悔しい。 諸外国や川口市や北海道の状況を見て、共生できると考えているなら甘いと思います。
58	今は神奈川県に住んでいますが、退職後故郷の富山県に戻る予定にしているので「在留外国人との共生社会を実現するための条例」の制定を断固拒否します。 川口市やヨーロッパ諸国の惨状を理解した上でこのような条例を制定しようとしているのであれば、知事は即刻辞職してください。
59	多文化共生を進めることは大事。そのためには、外国人に日本や地域の文化・習慣を理解してもらうことが重要なので、その点追記してほしい（例えば日本の風呂の入り方ひとつとっても外国人に理解してもらう必要がある）
60	今、日本国民の大半が外国人受け入れや共生等を反対してるのになぜ、逆行するのか理解に苦しむ
61	移民政策は、ヨーロッパなどでは失敗に終わっています。京都府在住ですが、富山県の外国人との共生条例について、SNSで知りました。 不安視されている、意見が沢山上がっています。 京都は外国人が多く、住みにくい場所になりつつあると感じています。 例えば外国人の方で日本語が話せない生活者が増える事には不安を感じています。 ここは日本なので、まずは日本人が不安を感じないようにしてほしいです。
62	・外国人との共生を目指してはいけません！大人しいのは最初だけです。絶対に移民はダメです！ 「心ある富山県の皆様、今大阪がどのように悲惨な状況になっているか聞いてください。」 《削除》
63	22ページにおいて、「芸術文化」と「文化芸術」という言葉つかいがあるが、どう違うのでしょうか。 富山には美術館や文学館など素晴らしい施設が多くあり、多くの人に来てもらうよう頑張ってください。
64	・「地域における相互理解の促進」に反対します。 外国人は独自にコミュニティを形成し、その範囲を広げ、《削除》既に全国各地で地域との摩擦が問題となっているのは、「理解」という概念を持ち得ていないことの証左。 ・「企業における受入・定着に向けた支援」に反対します。 補助金を投入している時点で安い労働力ではない。非正規・非正規間接・非労働力を活用すべきである。本人だけでなく、家族への日本語教育等の支援といった付加的なコストも発生するため、外国人が増加することにより、本来県民が受けられた住民サービスは縮小されることになる。 ・「県内児童生徒のグローバル意識の醸成を図ります」に反対します。 義務教育にそれを導入することは、思想の強制・洗脳です。親には「教育を受けさせる義務」があるため、自国の歴史や文化についての教育を求めます。正しく自国を学んだ上で、児童の自主性によって世界に目を向ければよい。強制すべきではない。 ・「在留外国人との共生社会を実現するための条例（仮称）の制定」に反対します。 一般財団法人外国人材共生支援全国協会の特別顧問の面子を保つために県民を犠牲にしないでいただきたい。県民の意見も聞かず移民政策を推進している中、後追いで条例を制定し、一方的に努力義務を課するのは独裁でしかない。ホームタウン問題で民意は示された。それに逆行する政策は今すぐ廃止すべきであり、本条例案も即刻廃案とすべきである。日本全体の民意により首相交代となった以上、議論の余地もない愚策である。 以上のことから、本件総合計画から外国人共生に関する部分の削除を強く求めます。
65	私は、現在、法人化を進めている子育てサークルの代表を務めております。貴行政の政策における事項の一つとして「こども・子育て」が掲げられている点に深く関心を寄せております。 貴行政は、「こども・子育て」支援において、他機関、他団体が連携し合うことで社会全体で支え合う機運を醸成する旨を提唱されています。この「連携」が具体的にどのような方向性を指しているのか、以下の点についてご教示いただきたく存じます。 ・行政が今後計画される具体的政策を中心とした、他機関・他団体との連携を指すのか。 ・他機関・他団体が計画・実施する具体的な「こども・子育て」活動に対し、行政も連携・協力していくことも含むのか。 当子育てサークルも、富山県における「こども・子育て」環境の向上に貢献できるような活動を展開していきたいと考えており、貴行政との連携・協力は、その活動を推進する上で大変心強いものとなります。 貴行政の「こども・子育て」支援に関する具体的な連携方針について、説明いただけますと幸いです。
66	私達日本国民から生活苦になるほど、増税しそれを外国、海外ばらまき、補助金ビジネス利権、私達の税金使ってやってますよね 欧州、アメリカ、移民対策でイスラム、中共侵略されてて、自国民大変です。 日本国、日本人DNAも移民受け入れで変わります。 犯罪治安維持費今以上の負担は、誰がしますか？ 日本破壊は止めてください
67	在留外国人との共生社会を実現するための条例」制定阻止希望 まだ訪れた事がないけどアンテナショップは美味しいものばかりで行くのを愉しみにしていました。 その富山県の名産品をうみだすのは、外国人ではないはずです。外国人を入れても埼玉の川口や京都、都内のあらゆる場所で治安と衛生面で問題が出ています。 共生など不可能と事例があるのでやめてください。 富山の海も山も川もすべてが汚されます。 そんな事よりも富山県の日本人人口が増える政策にお金を使ってください。
68	富山県「在留外国人との共生社会を実現するための条例」制定を止めてください。外国と日本では文化が違い過ぎます。先日も憩いのカフェが外国の方の迷惑行為（海外では迷惑だと思わないそうです）で非常に悲しい思いをしました。
69	どうして世界の潮流と真逆のことをしようとしているのですか？イギリスなど欧米がどうなっているのか知らない訳はないですよ？誰が望んでいるんですか？この国を愛する日本人は誰も望んでいません。 美しい富山を壊さないで下さい。絶対に反対です。住民全員1人残らずに意見を吸い上げて下さい。反対の声を無視せずに、移民計画は中止して下さい。
70	要望 これ以上の外国人の受け入れは積極的にせず、まずは日本人が働ける、子どもを産み育てやすい富山県を目指してください。やれることはまだまだあるはず。多文化共生は大反対です。
71	県の「在留外国人との共生社会を実現するための条例に」についてですか、一部地域で急速な外国人定住が進み、地域住民との摩擦が大きくなり治安悪化・教育・生活環境への影響を懸念する声が多数寄せられる可能性があります。 国の方針が今後見直される可能性がある中、県としても住民意見を十分に反映し、外国人受け入れに関する施策を一度立ち止まって再検討いただきたくお願い申し上げます。何卒ご対応のほどよろしくお願いいたします。

72	多文化共生と外国人人材活用には反対です。 イギリスでは、新聞社の情報開示で性犯罪の増加がわかり、外国人との共生との方針を翻しました。また、《削除》被害者は女性と女兒と男児です。未来ある子を性犯罪から守る責務が県にはあります。コツコツと日本人だけでこの先も笑顔で暮らしていければ幸福ではありませんか？被害者は一人も出してはならない。被害者の屍の上に多文化共生や外国人人材活用などキラキラ言ってもおぞましくもある。 日本においてもオーバーツーリスト問題で京都修学旅行が難しくなったり、鎌倉で私有地で野糞など問題になってます。 ポーランドは外国人を入れることなく過ごし、経済成長著しくなってます。 富山も日本も日本人が日本文化を大切にする国として100年後も栄えるようにしませんか。世界中どこにでもある富山になっては誰も見向きもしないでしょう。 多文化共生と外国人人材活用には反対します。 参考 ChatGPTログイン あなた:イギリス 情報開示 外国人 性犯罪 ChatGPT:イギリス（主にイングランド・ウェールズを中心）における、外国人／外国籍者および外国で犯した性犯罪に関する「情報開示・登録・通知義務・国外旅行」などの制度・ポイントを整理します。なお、法律の解釈・適用には専門家（弁護士等）への確認をお勧めします。 主な制度・ルール 1. 性犯罪者登録・通知義務制度 Sexual Offences Act 2003 (2003年性犯罪法) において、特定の性犯罪で有罪となった者・または通知義務付きの者 (Sex Offenders Register に登録される者) は、居住地変更・旅行などに関して警察への通知義務があります。GOV.UK+2 GOV.UK+2例えば、イングランド・ウェールズ・北アイルランドでは、登録対象者が英国から出国を予定する場合、「出発前に警察に通知」する義務があります。Nacro+1通知内容には、出発日、渡航先国（または最初の国）、到着地、帰国予定日・到着地、航空／交通手段、滞在先宿泊先などが含まれます。UK Legislation+1海外で有罪となった性犯罪（外国で犯した性犯罪）についても、英国に居住している場合には「通知義務付き」にするための手続き (Notification Order) を警察・裁判所が出す仕組みがあります。GOV.UK+1 2. 外国人／外国籍者・国外で犯罪を犯した者に対する制度 「外国人 (Foreign National Offenders: FNO)」というカテゴリがあります。英国に居住している外国籍者や在英外国人が、性犯罪等で有罪となった場合、出入国・滞在許可・強制退去 (追放／国外退去) 等の対象となる可能性があります。Home Office (英国内務省) は、被害者向けの情報開示ガイダンスを公表しており、FNO の被害者にはどのような情報が開示可能かを定めています。GOV.UK例えば、性犯罪または暴力犯罪の被害者の場合、刑期12?か月以上の場合には「Statutory Victim Contact Scheme (法定被害者接触制度)」の対象となるケースがあります。GOV.UK最近の法改正・制度強化として、外国籍で性犯罪等の登録対象となる者について、庇護 (アサイラム) 申請を却下・資格を剥奪する動きがあります。例えば、罪で性犯罪者登録された外国人が英国で庇護を求めることを禁止する改正が報じられています。UKPOL.CO.UK+2ITVX+2 3. 情報開示 (被害者・関係者向け) 被害者・被害者代理人等には、FNO に関する一定の情報が提供されることがあります。上記ガイダンスにて「どの情報が被害者に開示可能か」「どのように開示されるか」が定められています。GOV.UKただし、個人のプライバシー・データ保護 (GDPR 等) に関して、警察・当局が情報開示を制限することもあります。例えば、第三者の個人データを公開することが公正・適法でないと判断されるケースがあります。psni.police.uk 外国人／外国での性犯罪に関して押さえておくべきポイント 外国籍者だからといって、英国の性犯罪登録義務・通知義務が免除されるわけではありません。特に英国に居住・活動している場合、海外での性犯罪も対象となる可能性があります。GOV.UK+1出国・再入国時の通知を怠った場合、刑事罰 (最大5年など) となる可能性があります。GOV.UK+1既に帰国して英国外に居住している場合の義務・適用範囲には、状況により異なります。英国在住でない外国籍者がどう扱われるか、また英国登録者として国外移住した場合の取扱いなどは、個別状況を確認する必要があります。被害者情報開示の観点では、「自分が被害者だ／被害者代理人だ」という場合、どの程度の情報が得られるか／どの手続きを経るかを確認することが有益です (上記ガイダンス参照)。最近、英国政府が「性犯罪者登録対象となる外国籍者・または外国で性犯罪を犯した者」に対する庇護資格剥奪・国外退去強化を打ち出しており、制度の運用・優先度が上がってきています。ITVX+1もしよろしければ、**日本人または日本に関係する外国人が英国で性犯罪を犯した場合の手続き・影響 (登録・国外退去・在留資格など) **についても調べてご紹介できますが、それをしますか？ あなた:イギリスでの外国人による性犯罪の増加についての記事はあるか ChatGPT:はい、英国において外国人 (外国籍者) による性犯罪・性犯罪関連のデータが最近報じられており、増加傾向を示す記事・分析があります。いくつか主要なものを整理します。(ただし、データの出し方・解釈には注意が必要です ? 社会的・統計的背景が複雑です) 主な記事・データ 『Sex crimes by foreign nationals in the UK rise by 62% over four years ? International News』 2021年2025年 (あるいは2021~2024年) にかけて、英国で外国籍者が性犯罪で有罪となった件数が 約62%増加 したというデータを示しています internationalnews.uk+1同期間に、英国国籍者の性犯罪有罪件数も増加していますが、増加率は約39.3%と、外国籍者の増加率のほうが高いと報じています。 internationalnews.uk+1外国籍者が性犯罪の有罪判決全体の約「1／7 (14%程度)」を占めているというデータもあります。 internationalnews.uk+1 『UK immigration: Indians lead foreign sex crime surge with 257% rise in 3yrs』 外国籍者の中でも、特にインド国籍者の英国での性犯罪有罪件数が2021年~2024年に 257%増加 したという報道。ビジネススタンダード+1同期間で、外国籍者全体では687件→1,114件 (+62%) という数字も示されています。ビジネススタンダード+1 『Foreigners more than three times as likely to be arrested for sex offences compared to Britons, new analysis shows』 英国の警察データに基づく分析で、外国籍者は英国籍の人々に比べて性犯罪で逮捕される割合 (人口あたり) が 3.5倍以上 高いという報道。GB News 『Sex offenders to be stripped of refugee protections』 上記の増加傾向を受けて、英国政府は外国籍の性犯罪者について 難民保護を剥奪 する方針を出しています。
73	富山県が検討中の「在留外国人との共生社会を実現するための条例 (案)」について、以下の通り意見を提出いたします。 「共生社会の実現」という理念は一見前向きに聞こえますが、現実には多くの国で外国人受け入れ政策が社会的摩擦や分断を招いている事例が存在します。富山県においても、外国人住民が急増している中で、理念先行の施策は地域の秩序や住民感情に深刻な影響を与える可能性があります。 以下、具体的な懸念と要望です。 ■ 懸念事項 ・理念の先行と現実との乖離 スウェーデン、ドイツ、フランスなどでは、移民政策が治安悪化や文化的摩擦を招き、政策の見直しが進められています。 スウェーデン：寛容な移民政策を進めた結果、都市部での治安悪化や文化的対立が問題視され、政策の見直しが進められています。 ドイツ：難民受け入れに積極的だったが、統合政策の不備により、教育・雇用・治安面で課題が顕在化し、国民の不満が高まりました。 フランス：多文化主義を掲げながらも、郊外での移民コミュニティの孤立や暴動が発生し、社会統合の難しさが浮き彫りになっています。 これらの国々は、理念先行で受け入れを進めた結果、現場での摩擦や制度疲弊に直面し、後から統合政策の見直しを迫られています。富山県も同様のリスクを抱えており、慎重な制度設計が必要です。 ・日本語・日本文化の軽視 「やさしい日本語」や「多言語対応」の標準化は、日本語習得の動機を弱め、地域内で情報格差や文化的衝突を生む恐れがあります。 ・支援拡大に対する歯止めの欠如 条例案には、外国人支援施策の縮小・見直しに関する基準が明示されておらず、人口構成の急変や社会的摩擦への対応が不透明です。 ・住民感情への配慮不足 日本人の立場や負担への配慮が乏しく、「共生」の名のもとに不公平感が広がる懸念があります。実際、近年の行政のやることは外国人を優遇しすぎであり、日本で日本人が差別されている、とまで感じます。強い憤りがあります。端的に言うと、「誰見て政治してるんだ？日本人の為に政治しやがれこのボケが！」です。 ■ 要望事項 1 条例に「支援拡大の歯止め」および「見直し基準」を明記すること。 2 日本語能力の取得・日本文化の理解を条例の基本方針に盛り込むこと。 3 日本人住民の立場・権利・利益を優先的に保護する旨を明文化すること。 4 「やさしい日本語」や「多言語対応」は限定的・任意的措置とし、標準対応としないこと。 5 社会的摩擦・治安悪化等が顕在化した場合の、条例縮小・中止の判断基準とプロセスを制度化すること。 6 意見募集において、反対意見に対しても理由を付して公的に説明すること。 ■ 結語 多文化共生」とは、美辞麗句であってはなりません。「共に生きる」という理念の裏には、文化的摩擦、習慣の違い、治安・秩序の問題など、現実の課題が厳然として存在します。現場の実情と住民感情を正面から受け止めるリアリズムが不可欠です。日本の主権は日本人にあり、外国人はその枠内で生活する存在です。外国人住民の受け入れは、彼らが日本文化や地域秩序を尊重する姿勢を前提としなければなりません。富山県の地域社会を支えてきたのは、長年そこに根を下ろして暮らしてきた住民です。その声を軽視することは、主権者の権利を奪う事です。 以上、条例案の見直しにあたり、真摯なご検討をお願い申し上げます。
74	外国人の方との共生は望んでいません。 外国がどのような事になっているかご存知ないのでしょうか？ 知事はNAGOM iのメンバーである事など考えると、これからの県政に不安しかありません。 実現などしなくて結構。 富山県民は殆どの方が、まだ困っている事もなく、何も気付いていないかも知らない。それなのに、裏でこんな事が進められるのは甚だ問題です。 何事も大きな決断を下す時は、はっきりと県民に示し、意見を多く求めるべきです。気付いた人だけが意見を言えるのは卑怯です。 人がいないからと安易に外国人を受け入れるのは絶対反対です。 そして、無駄もやめるべきです。 脱炭素は失敗です。リサイクルはどのくらい、実際に行われていますか？リサイクルすることによる成果は出てるのでしょうか？ ゴミ有料化の前に、その辺りを見直した方が良いと思います。何のために高い水道で洗って、ゴミを出すのか意味が分かりません。 海外では脱炭素は見直されています。 失敗した国を見て考え直しを求めます。外国人との共生は無理です。

75	富山県民ではありませんが意見させてください（これ以上前例を作ってほしくないからです） どこの地域でも多文化共生を推進していますが、ヨーロッパの状況を見ている人はまず反対しているはずです。日本が引き入れようとしている国はどこも治安が悪すぎますし、現在 法整備ができていないため外国人犯罪が起きても不起訴だけです。今一度とどまってもらえませんか。 それから富山県庁の中国籍公務員の採用も反対です。スパイを入れているようなものです。中国は反日国家であり、国防動員法がある国です。そんな人間を富山県庁に置くのはやめてください。市役所での外国人採用はニュースで知ってましたが県庁レベルに中国人を置くとは危険すぎます。どうぞよろしくお願いいたしますします。
76	先に移民を推進していた欧米の現状を見て分かる通り、外国人との共存は不可能です。ただでさえ島国である日本が文化や言語の異なる外国人と上手く共存出来るはずがありません。大人しい日本人に制御出来る人間ではありません。彼らは日本を存続させる為に来るのではなく、インフラのただ乗り良いとこ取りに来るだけなのが何故分からないんですか。人口の少ない地域に外国人を呼び寄せるということは、彼らにその土地をくれてしまうという事です。どうかそのような売国政策は止めてください。
77	本条例（案）には反対です。 外国人との共生を推進する趣旨自体は理解いたしますが、内容を見ると、外国人の方々を一方的に支援・優遇する色合いが強く、日本人住民との公平性に欠ける印象を受けます。 共生とは、外国人だけを支援することではなく、日本人住民の生活や文化の継承、地域社会の絆を守りながら、互いに歩み寄ることだと考えます。 また、海外で働く日本人が現地社会で自立して努力しているように、日本に来られる方々にも一定の自助努力や地域への適応を求めることが、本来の共生のあり方ではないでしょうか。 以上の理由から、本条例（案）の制定には反対します。拙速な成立を避け、内容を再検討のうえ、日本人・外国人双方が公平に尊重される社会のあり方を改めて議論していただきたいと考えます。
78	富山県が検討している「在留外国人との共生社会を実現するための条例（案）」に反対します。 【理由】 1. 県民の安全と治安の確保が最優先であるため。 埼玉県川口市など外国人住民の急増に伴い、言語・文化の違いからトラブルが増加している地域もあります。 2. 自分は石川県民ですが、富山県が実施すれば、北陸の他県も影響を受けるリスクがあります。また、自分自身の海外での就労経験に基づき、文化や言語が違う外国人との共生など簡単に推し進めるものでは決してありません。
79	そもそも外国人と共生社会の実現は無理だ。外国人と一言で表すが、例えばアフリカ人やイスラムとの共生が可能だと本気で考えているのか？ 彼らの衣食住の文化は日本のと異なり過ぎている。その外国人の子供の給食への対応は？（ハラルなど） 犯罪防止の対策は？（そもそも日本の刑法を知らない）日本語が話せない人がどうやって地域で暮らしていける？ 生活環境が整備されていないのに「外国人材の活躍」を達成できるわけがない。 貴県がこうした玉虫色の計画を策定すると、県内市町村もこれに倣い、県内で計画に沿った施策を進められてしまう。ただただ「計画に書いてあるから、やろう！」という短絡的で実効性のないものが。 今、必要なのは日本人非労働者を労働させること。富山県内の日本人非労働者を働かすことができれば、外国人など受け入れる必要などない。外国人受け入れのための環境整備費用も必要ない。足元を見ないで、どこを見ている？どこを目指している？ 3000級の立山連峰から水深1000mの富山湾まで、高低差4000mの多様な地勢を有する富山県。 下を見ても上を見ても多様な人材が富山県には眠っている。活躍させるのはその人材だろう。いい加減、目を覚ませ。 「在留外国人との共生社会を実現するための条例（仮称）」の制定、多文化共生と外国人材の活躍による活力ある地域づくりに断固反対する！ うぬも天狗にしてやろうか！うわはははは！！？
80	《削除》 もしかして「自分たちだけは大丈夫」など高を括っていますか？欧州では自治体の職員や議員も暴力被害に逢っていますよ。 《削除》を行け入れればどうなるか、目に見えるではありませんか。あなたがたは日本人ですよ？ 「目先の金を掴まされた」「ハニートラップに引っかかった」としたら白状してください。 そして、我々日本人が一丸となって祖国を作っていきましょう！！
81	多文化共生反対 多文化は尊重しますが、共生する必要はありません。薄っぺらい考えで進めないで下さい。
82	まず、私は最近問題視されている「排外主義者」ではありません。また、感情任せのクレーマーではない事も、最初に申し上げておきます。 在留外国人による窃盗・暴力・性犯罪・轢き逃げ等のニュースが増えている事をご存知でしょうか？全国ニュースになるものは数件でも、そうでないものを含めるとかなりの件数の犯罪が今の日本では起きており、治安の悪化で国民は不安と怒りに震えております。真面目に働いて日本に馴染もうと努力している外国人の方も多いますが、一部の悪い人たちと法律の甘さもあって国民が排外主義の一手前まできています。 そんななか、外国人との共生を県が推進するのは県民・国民の声を無視した愚行だと思えます。「外国人が増えてきたから仲良くする条例を作ろう」ではなく、少子化対策や農業の機械化などの「外国人に頼らずに済む方法」を真剣に考えていただきたいです。 私は県外の者ですが、富山は自然豊かで海の幸の宝庫で大好きな場所です。少子高齢化で今は人が少なくても、長い目で見て日本人が増えればもっともっと質の高いものが生み出せ、発展していけます。外国人と仲良くするなどはもちろん言いませんが、それよりもまず県民・国民の事を考えて、条例については一旦白紙にして下さい。よろしくお願いいたしますします。
83	県外から失礼致します。こちらの条例ですが、わざわざ制定する必要性を感じません。今は世界的に移民で治安が悪化していることをご存知でしょうか？ 外国人を野放図に受け入れることを前提としたような条例を制定するのは反対です。 私は愛媛ですが、技能実習生との方との共生はうまくいっているとは言えません。もちろん、勤勉な方や地域に馴染む方もいます。ですがここ数年で実習生の数が増え、敷地内への侵入、逃亡、窃盗などが多発しており、治安悪化を肌で感じています。なので、必ず地域住民との摩擦を生みます。そういった事例に対しての具体的な対策は考えられていますか？ 結果的に県民に負担がかかるようなやり方では必ず問題が起きると思います。引っ越しをされる方もいました。そういうことを、富山県は望んでいることなのでしょう吗？ 富山は素敵な県だと思います。県外からの声はあまり意味がないのかもしれませんが、読んでくださりありがとうございました。
84	在留外国人との共生社会を実現するための条例に反対します。 この十数年に來日した外国人は共生等考えていません。今は大人しいですが、人数が増える程に彼等は要望を出し自分達に都合の良い環境に整え、最終的には日本人を追い出す算段です。北海道では既に日本人が立入ろうとすると石などを投げつけて近づけないようにしている外国人が居ます。 日本人に被害は既に出てきています。《削除》 イギリス等みても明らかです。外国人に頼らず日本人で守らないと手遅れになる。
85	外国人との共生に反対です。 資料に「定住」のような記載がありますが、これは表現が違うだけで「移民」ですよ。日本は経済移民を受け入れていないはずですが、富山はそれを無視しているということですよ。もしくは国民が知らされていないだけで、日本は経済移民を受け入れているということでしょうか。だとしたら大問題ですよ。 共生は地元民と外国人が互いに歩み寄って初めて成立するものであり、日本に馴染む気がなかったり、日本の社会保障やサービスにフリーライドする気で來日する外国人が混じっていれば共生の計画は破綻し、地元民の負担が増えます。 理想と現実が違うことに気がついた外国人は、よくて帰国、最悪は失踪と不法滞在です。この流れで不法残留し逮捕される事件が多発していますがニュースは見えていないのでしょうか。 佐賀県で発生した技能実習生の強盗殺人と同様のことが発生しないと切り切れませんし、言い切れるなら証拠を出すか、万が一何かあったときの責任者と責任のとり方を明確にしていきたい。 おそらくこのまま受け入れを強行したら治安は間違いなく悪化します。富山に住んでいる日本人は治安悪化に耐えられず引っ越してしまうでしょう。ますます人が流出してしまい、埋め合わせでさらに受け入れを進めれば事実上の移民の土地になり、富山の歴史的なものはほぼ管理されなくなるでしょう。そうでなければ、理想と現実のギャップから失踪した外国人が他府県で逮捕されて「富山から失踪」と書かれる事件があちこちでニュースになります。もし富山からの失踪者が起こした事件で死者が出たら、間違いなく悪評が広がりますし、呼び寄せなければ事件は起こらなかったわけですが、責任はとれますか。失踪しなかったとしても強盗や窃盗は多発が予測できます。富山県警察だって人手不足のはずですが、余計な仕事を増やしたいのでしょうか。盗みだけでなく性被害も増えるでしょう。まさか自分たちの家族や知り合いだけは被害者にならないとでも思っているのでしょうか。災害が発生すれば、治安は更に悪化しますよ。 富山は「少子化に対して少数精鋭で運営できている県の最初の成功例」を目指すべきです。それか離れてしまった富山県民が地元に戻って来たくするような計画をすべきではないですか。 今富山で頑張っている人たちが金銭的にも精神的にも満足できるようになれば、自ずと住みやすいという噂が広がり、地元に戻ってくる県民が増えて活気が戻るのではないですか。 産まれた場所のルールや風習はよく知っているわけなので、軋轢もトラブルもないでしょう。

86	私は日本国憲法 前文および第1条に則り、主権者として本状を提出いたします。 これは請願・要望ではなく、国民主権に基づく設計指示です。 【対象】 富山県「新たな総合計画（素案）」およびその中で位置づけられる「在留外国人との共生」関連施策全般 【指示】 1. 総合計画素案の策定過程（審議会・有識者会議・外部委託・県民アンケート等）の全記録を整理・開示し、判断根拠と意思決定の流れを県民が確認できる形で公表すること。 2. 意見募集で寄せられた県民意見を、賛否・反映有無・除外理由を明記して一覧化し、説明責任を果たすこと。単なる「概要紹介」ではなく、主権者への報告として提出すること。 3. 「外国人との共生」施策については、県民の安全・治安・教育・文化・宗教的共存などに関する具体的な影響分析を行い、肯定・否定両論を公平に整理した上で、再設計を検討すること。 4. 上記3に関して、国として移民政策の包括的な法整備が不十分な現状を踏まえ、県単独での先行施策を行う場合は、法務省・出入国在留管理庁との正式協議・文書確認を行い、その記録を公開すること。 5. 総合計画における「多文化共生」や「人口・雇用・防災・地域福祉」等の重点施策は、県民の基本的人権（憲法第13条・第25条）と地方自治の本旨（第92条）に照らして整合性を検証し、必要に応じて県民参加による再設計会議を開催すること。 6. 上記すべての手続きを公文書管理法の対象として正式に記録し、将来の政策検証に資するよう永年保存・公開すること。 【確認・記録】 行政・自治体の権限は国民からの信託によるものであり、本指示を無視または形式的に扱うことは憲法の原理に反します。 よって本指示を正式に記録し、責任ある回答および実施計画の提示を強く指示します。
87	昨今、外国人の移民問題、多文化共生の壁について多くの国民から反対の声が出ているかと思います。国民または市民の反対を押し切り、進める事は反対しますので撤回してください。
88	すでにこのような政策をしていた国が共存できず崩壊しているのに法できちんと外国人を裁けない日本で外国人を増やすべきでは無いと思います。
89	富山県の多文化共生政策に異論が有って言いに来ました。県の人口が足りなくなってきたから外国人で穴埋めしようという発想は自国民の事を何も考えていない発想だと思います。現に外国の北欧スウェーデンでは移民政策を推し進めた結果、移民に依るギャングが暴れ回っています。 (https://president.jp/articles/-/94162?page=3) 外国でこういう事例が有るのに移民政策同様の計画を推し進めるのは即刻に辞めて頂きたい。
90	一定の外国人労働者は必要かもしれませんが、既に射水市は（総人口比）4%で3604人　高岡市は2.7%（4368人）です。このパーセンテージで外国人はもう多いと感じており、実際外国人による暴行行為を我が家は2度体験しています。 同胞ではない根底の価値観が違う人間との共存は不可能だと言うことは諸外国を見て一目瞭然であります。今後、受け入れるのであれば外国人の比率を5%以内に抑えることなど上限を決めるべきです。さらに犯罪を犯した時に言葉が通用しないからという理由で不起訴にしたりしてはいけません。受け入れ態勢が出来ていないのに来てくださいます。県民は多文化共生は望んでいません。
91	多くの国民、富山県民の望まない移民誘致に繋がる多文化共生計画の廃止を強く希望します。 このまま外国人の比率が増え永住者が多くなると治安の悪化、日本が日本で無くなります。 今だけの事でなく日本の子供達、若者の将来を考えて下さい。外国人の受け入れは止めるべきです。
92	「多文化共生と外国人材活躍による活力ある地域づくり」につきまして、残念ながら世界中を見てもこれに成功した国や地域は存在しないようで、もれなく、治安は悪化し、社会で対立が起きています。 すでに大失敗していることから学ぶこともせず、なぜ外国人に頼るのか？それ以前に国民の生命と財産を預かる政治と行政の責任を果たしていただきたいです。 外国人労働者を頼るから日本人の賃金は上がらない悪循環。日本語教育から始めなくてはならない労働力より、日本人が働きやすい社会、安心して出産、育児ができる環境を整えて日本人の人口を増やす投資に注力すべきと考えます。
93	東京、大阪での移民反対デモをご存知でしょうか？ 富山県民として反対します　絶対にお辞め下さい
94	まず、富山にイスラムは必要ありません。外国人もこれ以上増えて欲しくはありません。 治安の悪化が心配です。夜道でも女性一人で歩ける治安の維持のために、多文化は不要です。 県庁、市役所の職員に外国人なんてもっての他です。
95	多文化共生と外国人材活躍に反対 安全で安心な地区に住んでいる知事は、理想論を語ることに夢中で、現実的な問題には目を向けていないように見えます。知事自らが、夜中に騒音を出したり、ゴミ出しのルールを守らない外国人にルールを守らせるのでしょうか。 共生社会を実現するための理想が私たち県民にどれほど負担を強いているか、知事は理解しているのでしょうか。自分は安全で安心な環境で共生社会の理想を語り、その理想がもたらす負担を県民に押し付けることは、果たして適切なのでしょうか。 理想のツケはいつも、最終的に生活者の県民に負担としてのしかかります。私たちは、知事の理想を実現するための駒ではありません。それに、人口減少の穴埋めに外国人材をあてにする発想そのものが外国人への差別ではないでしょうか。
96	富山県外国人材活躍・多文化共生推進プランに反対致します。県外でも外国人による問題が増え続けている今、富山がやるべき事は外国人に頼らなくても大丈夫な生活基盤を築く事です。
97	SNSで、外国人との共生に危惧する投稿がありました。その投稿を見てコメントを送ったしだいです。 安心して生活できる地域を目指すのであれば、このような県民の不安の声も意見として反映していただきたいと思います。 多文化共生とは地球規模で完成された社会構図であり、日本の富山県という枠に収められるほど簡単なものではないことを十分に学んでいただきたい。 富山県の人口減少を補うための外国人材受け入れ及び定着を図る政策に反対します。 「より多く」、という成長のマジックのからくりを見抜き、「より少なくすると逆によりよい生活が実現する」という時代の転換を富山県から発信し、目指してくださることを切に望みます。
98	多文化共生の取り組みに大反対です。 治安が悪化し、県民の日常が脅かされます。そんな富山県には近づきたくありません。
99	日本政府がやろうとしている、労働力不足という名目で多くの外国人を受け入れ多文化共生を強要するのは愚策そのものです。 まず富山県が、どの県よりも率先して移民受け入れに反対の立場をとってください。今現在、日本国内には不法滞在者が7万人います。彼らの存在そのものが日本の治安悪化の原因です。昨今の欧米の混乱ぶりをみても移民を受け入れて成功した国は世界中どこにもありません。日本が誇る、治安の良さはお金では買えません。 もう日本には時間がありません。このまま政府が推し進める外国人受け入れを続ければ必ず、富山県の治安は悪化し、県民が混乱し、今いる外国人とも分断をうみます。すでに県内でも外国人による窃盗被害、家屋への不法侵入が増加しています。もう安心して暮らせなくなっています。 逮捕されても、通訳不足からか不起訴処分が続出しおり、犯罪を犯した外国人が日本人よりも優遇されていると思われています。 県民がこれからも安心して暮らせるように、富山県として、もうこれ以上移民を受け入れないでください。ぜひ県民に信を問うてみてください。私の周りで移民受け入れに賛成している人など1人もいません。 県として外国人との共生よりも、優先すべきことがたくさんあります。まずは日本人の若者が安心して働け、結婚、出産、育児が出来るようにしてください。そして高齢者が以前のように安心して暮らせる富山県にしてください。 新田知人には、懸命な判断と行動をお願いします。県民は見ています。あなたの子や孫の世代に、治安が良く安心して暮らせる富山県を残すのか、欧米のような治安が悪化した結果毎日怖れながら暮らす富山県にするのか、今一度考えてください。よろしくお願いします。
100	「在留外国人との共生社会を実現するための条例」制定に反対します
101	外国人材の受け入れについて、拙速な拡大には反対いたします。 以下の理由から、安易な受け入れ拡大ではなく、人口減少を前提とした持続可能な地域づくりを優先すべきと考えます。 まず、外国人材受け入れは実質的に「少子化対策・人口減少対策」として位置づけられていると理解しています。しかし、資料（p.10）では2040年の県人口が約85万人と試算され、現在との差は約15万人です。仮に人口減を補う目的で外国人材を受け入れる場合、今後15年間で相当数（単純計算で外国人比率が約20%規模）となる可能性があります。これは社会構造を大きく変える施策であり、十分な議論なしに進めるべきではありません。 また、「極端な受け入れは行わない」という方針であれば、人口減少は避けられず、外国人材受け入れの目的そのものが達成できません。人口減少を一時的に緩和するだけで、根本的な解決にはならないと考えます。 さらに、外国人材も生活者であり、教育、社会保障、行政サービスなど、受け入れに伴う社会的コストが発生します。単に移民により人口を増やすことが、必ずしも地域の豊かさや経済発展につながるとは限りません。 人口減少を「問題」と捉えて移民で穴埋めを図るのではなく、人口減少を前提とした経済モデルの転換、DX・生産性向上、子育て支援や出生率向上策など、持続可能な地域づくりに注力すべきと考えます。 以上より、安易な外国人材受け入れの拡大ではなく、人口減少社会を前提とした政策転換と少子化対策を強く求めます。
102	外国人との共生はヨーロッパ圏やアメリカを見てもわかります。良くなった試しがない。 日本の美しい街を壊す気ですか？反対です。

103	外国人との共生に失敗している国や地域が複数あるなか、富山県なら成功できているのでしょうか？現状で共生可能な外国人の方は、わざわざ条例を制定せずとも共生しています。共生が難しい外国人の方のために富山県が日本人の住みにくい土地になってしまえば、今以上に若者が離れていくことになりま す。未来に希望のない富山県にはしないでください。価値ある自然や伝統文化を守ってください。
104	抗議の理由と懸念事項 貴県が検討を進める「多文化共生と外国人材活躍による活力ある地域づくり」の政策は、人口減少への危機感に基づいていることは理解しますが、その手法、特に条例案の推進においては、地域住民としての重大な懸念と反対意見を表明します。 (1) 「移民政策」ではないことの明確な説明不足 貴県が「外国人材の受入れや定着」を図ることは、事実上の長期的な居住者（移民）の増加を前提としています。国は「移民政策は取らない」としていますが、本条例案は長期的な「定着」を前提としており、これは地域社会の構造を根本的に変える重大な転換点となります。この政策が「移民政策」ではないのであれば、その明確な定義と、将来的な地域社会への影響について、住民に対して徹底した説明責任が果たされていません。 (2) 日本人住民への財政的負担と過度な支援への懸念 「多言語AI翻訳機・コミュニケーションツールの導入」「国際スクールとの連携強化」「生活の支援」といった施策は、多額の公費を投じるものです。これらの支援にかかる財源が、最終的に日本人住民の税金によって賄われることになります。人口減少に直面し、行政サービス維持が課題となる中で、外国人支援に優先的に公費が投じられることに對し、納得できる説明がなされていません。 生活・コミュニケーション・就労の各側面において、日本人と同様、あるいはそれ以上の手厚い「支援」が提供されることで、外国人材が自立的な社会参加をせず、日本人側の過度な負担を招く事態を危惧します。 (3) 治安・文化摩擦への具体的対策の欠如 条例案では「相互理解の促進」や「防犯・交通安全教育活動」といった抽象的な項目しか示されていません。 外国人住民の増加に伴い懸念される、地域社会の治安維持や文化・生活習慣の違いによる具体的なトラブル、摩擦に対する実効性のある対策が具体的に示されていません。 「共生社会」は理想ですが、まずは地域住民の安全と安心を最優先とする、より具体的かつ強制力のあるトラブル予防措置と対応体制の明記が必要です。 (4) 日本人住民の合意形成プロセスの欠如 本条例案は、地域社会のあり方を根底から変えるものでありながら、その検討過程において、日本人住民の意見が十分に取り入れられていません。 地域住民の懸念、不安、反対意見を真摯に聴取するため、公開の公聴会を速やかに開催し、住民の納得が得られるまで議論を尽くすべきです。 3. 要求事項 上記の理由に基づき、地域社会の活力を維持するという本来の目的に立ち返り、以下の措置を強く求めます。 （仮称）在留外国人との共生社会を実現するための条例案の即時撤回、または凍結。 外国人材の受け入れを推し進める前に、日本人高齢者や女性の就労支援強化、U/Iターン促進など、日本人を主体とした代替の人口・労働力対策を優先して検討すること。 今後の施策推進においては、地域住民の納得と明確な財源計画を前提とし、治安・文化摩擦対策を最優先とした具体的な案を再提示すること。 本抗議文は、日本に安心して暮らし続けたいと願う一般市民としての切実な意見です。貴職におかれましては、本抗議文の趣旨を深くご理解いただき、地域住民の意向を最優先とした施策の推進を強く要望いたします。
105	外国人共生社会を目指すことについては、慎重であるべきと考えます。昨今の他都道府県で起こっている外国人による犯罪の報道を鑑みると、富山県内においても無闇に受け入れるべきではないと思われます。一方で人口減少問題は取り組まなければならない課題のひとつでありますので、まずは出生数の増加や若者人口の県外流出防止を徹底した上で、受け入れの検討をする必要があります。一定数外国人の受け入れを行わなければならないとしても、単に外国人とのコミュニケーションツールの提供や生活支援ではなく、日本社会へ溶け込むためには、日本の文化やルール、生活習慣をしっかりと理解した上で、万が一トラブルや犯罪に至った場合は帰国して頂く等の法的措置を取れる体制を整えてからの話になると思います。外国人の雇用先や派遣元への徹底した監理や、低賃金での労働抑制を義務付けるなど、地域社会・経済にとって安心安全な体制の構築した上で受け入れをするべきです。
106	ドイツに37年住んでいて、老後生まれ故郷の富山に帰国しようと準備をしています。 表題にあるような「多文化共生」は夢のまた夢です。地域破壊につながれこそすれ、「活力ある地域」は絶対に生まれません。《削除》今のイギリスなどを見ると明らかです。私はお世話になる国に感謝し、日本の代表という思いで「住まわせてもらっている」という思いでこの約40年間、イギリスとドイツで過ごしてきました。しかしこれは、ほぼ日本人にしか見られない考え方です。 《削除》彼らの持つ「常識」は私達では考えすら及ばないものだからです。こんなふうにお伝えすると必ず「でも中にはいい人もいる」と言われます。当たり前です。問題はその「いい人」が大多数ではないという点です。 日本人は危機管理能力がありません。申し訳ないですが、平和ボケをしています。 地域住民の平和はその地域の首長の考え方に左右されます。お願いですから平和な日本を自ら破壊することは辞めていただきたい。 「少子高齢化」と言いますが、まずは103万円の壁を取り払えば働きたい人たちが自由に働けるようになります。そしてAIなどがもっと日常に浸透するようになれば、仕事の内容や働き方もどんどん変わってくるはずですよ。 わざわざ日本語を教えて、共生する為に日本の常識を教えないといけない移民に時間とお金を費やすより、今いる地域の皆さんがもっと働きやすく手取りが増えるような政策を考えてください。どこの国からの移民であれ、大量に流入してくる移民は破壊しか生みません！ 欧米が移民で破壊されてしまっているのに何故目を向けないのですか？きちんと情報を取る術はあるはずですよ。日本は報道の自由度ランキングでは67で最下位の66位(去年は70位)です。新聞やテレビなどのメディアは信用できません。きちんとしたところから情報を取ってください。 今現在、まだまだウクライナ人民共和国からの移民が増えそうなドイツです。「あの」ドイツでも今はどんどん強制送還や強制国外退去、そして支援金を出してまで帰国してもらっています。何故か？犯罪率が増えてしまったからです。一度入国させてしまうと国外退去にするのは至難の業です。どうか今平和に暮らしている地域の皆さんを危険に晒すような政策はやめてください。お願いします。
107	富山県民は政治的によく保守が多いと言われていることは周知の事実かと思ひます。 この考え方は現状の安心して過ごせる富山をそのまま残したいという思いがあると思ひます。 さて、ここ最近メディアが多文化共生に力を入れており、もちろんSNSでもその話題については毎日語られています。 SNSとメディアでの多文化共生についての情報量の差がありすぎると思ひます。 はっきり申し上げますと多文化共生など他国の状態をみれば悪手と言わざるを得ません。どこにも成功している国などなく、窃盗強盗・レイプなど犯罪率はどんどん上がり現地に元から住む方々はいつ被害に遭うのか怯えながらの生活を余儀なくされています。なぜ見えている地雷を踏み抜こうとしているのか理解に苦しみます。 日本の文化はもちろん、そもそも日本語から教えて行かなければならないような方々を受け入れてますますコストがかかるだけなのは目に見えていますし、大企業以外で多文化共生・外国人就労にメリットがあるだなんてとてもじゃないですが思えません。多文化を強制して元々住んでいる方々の生活を脅かすのはいかなものかと思ひます。《削除》 外国人を増やすより、元々住んでいる日本人を支援し、働きやすい環境を作っていただき、日本人の子供を持つ家族が住みやすいよう補助金などを出すほうがよほど人口増加につながると思ひます。 世界は今、多文化共生の推進から舵を切り制限してきています。それを押し切って進めるというのであればあまりに視野が狭すぎるし、何か利権があるのかと疑わざるを得ません。外国人を一度入国させてしまうと国外退去にするのは至難の業です。 どうか今平和に暮らしている地域の皆さんを危険に晒すような政策はやめてください。お願いいたします。
108	移民や外国人との共生に反対です。 富山の大自然や治安は日本人だから維持できています。 もし強行させるなら最低限の条件として、以下に当てはまる場合は強制送還を必ず実施して下さい ・妊娠　・犯罪　・無許可就労　・ビザ期限切れ　・雇用条件違反　・虚偽申告

109	【農業支援】 大規模第一次産業を推進するため、機械購入資金の約8割を県が補助。 一次産業への経済支援を手厚くし、一次産業でしっかり稼げる仕組みを整える。 【介護・福祉】 介護職員の手取りを増やすために県が補助金を支給。 人手不足解消のため、ボディビルダーなど体力のある人材を積極採用。 業務時間内に筋トレやプロテイン摂取を取り入れ、健康的な職場環境を整備。 【保育支援・移住促進】 県在住の保育士の給与を増やすための補助金を支給。 時短勤務保育士の待遇改善を進め、保育士の配置人数を増やして保育の質を向上。 「日本人保育士による手厚い保育」を強みに、子育て世帯の移住を促進。 【空き家活用・子育て支援】 空き家を県が買い取り、リフォームしてひとり親家庭、子育て世帯を優先入居。 10年間居住後に、その空き家を譲渡する制度を創設。 【若者・困窮者支援】 トーマキッズなど居場所のない若者を、農家や地元企業での住み込み就労で受け入れ(外国人よりも言語習得コスト、基本的な文化やマナーの習得コストが低い) 空き家を活用した住居提供により、自立支援と地域活性化を両立。 【環境・防災】 メガソーラー建設を抑制し、植樹を推進。 杉・檜ではなく、どんぐりのなる木など直根性・深根性の樹種を植え、獣害防止や防災性を高める。 【外国人受け入れ政策】 外国人労働者の受け入れは厳格化し、県民負担の増加を防ぐ。 受け入れ条件として以下を徹底：犯罪歴の確認 帯同家族を配偶者と未成年の子に限定 日本語検定の受験を必須化
110	外国人との共生は不可能です、外国人は自分達の文化、慣習を押し付けてきます、こちらが配慮しても無駄だった経験があります 今現在海外で起きている移民問題を見ても共生は不可能だと誰でも分かります この条例は日本の平和を阻害する条例です 私は断固としてこの条例に反対します
111	富山は旅行で訪れましたが自然も食べ物も豊かで感動しました。田園風景は日本らしく高岡の大仏も歴史を感じられ街の至るところに富山と日本古来の良さが散りばめられています。こんな豊かな県に外国人受け入れはどうかやめてほしいです。欧州や北米の移民の失敗から学ぶべきで一度移住し外国人の増加が進むと日本人は脅かされ文化は破壊されます。海外からも日本は心配されています。日本は日本人が住んでいるからこの良さが保たれていると、日本に日本人がいなくなってしまうたらそれは日本では無いとまで心配してくれています。 今私たち日本人にできることは目先の利益に囚われず100年先も日本人や日本の伝統文化が続くために、今こそふんばって日本人でできる政策を取り組んで下さい。どうかこの美しい富山のままでいてください。そして富山は他県とは違うところを見せてください。未来の日本の子ども達のためにも頑張ってください。
112	多文化共生は、はっきり言って無理です。郷に入っては郷に従わない人種です。まるで価値観が違います。 10年先学校給食から豚肉が無くなり、土葬が始まり異臭異臭騒音に苦しめられます。 先を見据え、条例の撤廃を求めます。
113	岡山県在住の私ですが、富山県の美しい環境には常々感嘆している富山県のファンでもあります。 その富山県が現在制定を進めている「在留外国人との共生社会を実現するための条例（案）」（以下、本条例案）について、私はその必要性、公平性、及び財政面における持続可能性に重大な疑問を抱いた為、本条例案の即時撤回、または廃案を強く求めます。 【反対の理由】 第一に、既存法令・制度との重複と実効性の欠如についてです。 日本国には、憲法の下、全ての国民及び適法な在留外国人に対して基本的人権の尊重が謳われており、人権擁護のための様々な法律や、生活支援のための行政サービスが既に存在しています。本条例案が目指す「共生」とは、既存の制度を最大限に活用し、誰もが安心できる地域社会の実現によって達成されるべきものです。新たな条例を設けることは、行政サービスを複雑化させ、かえって住民の混乱を招くものであり、その実効性は極めて低いと言わざるを得ません。まずは既存制度の周知徹底と利便性の向上に注力すべきです。 第二に、住民自治における公平性・公正性の原則を歪める懸念です。 「共生社会」とは、国籍、人種、年齢、障害の有無に関わらず、全ての住民が地域社会の担い手として尊重され、権利と義務を享受する社会を指します。特定の属性を持つ在留外国人の方々のみを対象とした条例を設けることは、住民間の「分断」を助長しかねません。 県民税や公共サービスにおける公平性の原則を揺るがし、特定の層に特権的支援を設けることは、他の住民の理解を得られず、真の共生とはかけ離れた結果を生むと考えます。 第三に、過度な財政負担と行政コストの増大についてです。 本条例の具体化には、専門的な多言語対応職員の配置、新たな相談窓口の設置、啓発活動など、多額の予算措置が不可避となります。 現在、富山県が抱える喫緊の課題（高齢者福祉、地域経済の活性化、防災対策）に充てるべき貴重な財源が、その費用対効果が不明瞭な本条例のために費やされることは、将来の住民に対する責任を放棄するに等しい行為です。 【結論】 本条例案は、真の共生社会の実現に資するものではなく、かえって地域社会に分断と財政負担をもたらすものです。 私は、拙速な条例制定を避け、全ての住民を対象とした既存の施策の強化と、住民全体の合意形成を前提とした、より包括的な地域社会のあり方について、改めて議論を深めることを求めます。 よって、本条例案の制定に強く反対し、即時の撤回を要望します。以上。
114	ご検討されている「在留外国人との共生社会を実現するための条例」について、制定には反対の立場です。 現在、日本各地では不法滞在や生活保護の不正受給など、外国人に関する制度運用上の課題が指摘されています。こうした状況の中で新たな共生施策を拙速に進めることは、県民の理解を得にくく、財政面の負担や制度の混乱を招くおそれがあります。 また、地域によっては治安の悪化やトラブルの増加が懸念されており、住民の安全・安心を確保する観点からも慎重な対応が求められます。県民が安心して暮らせる地域社会を維持することが、行政の最優先事項であると考えます。 共生の理念自体を否定するものではありませんが、まずは日本人の生活基盤（医療・保険・教育・雇用など）の安定を優先し、制度の整備や課題の整理を行ったうえで、段階的に議論を進めるべきです。 以上の理由から、本条例の制定には慎重な判断を求めます。
115	富山県が制定を検討している「在留外国人との共生社会を実現するための条例（仮称）」について、以下の理由から反対いたします。 第一に、地方自治体が県民に対して一方的に“共生義務”や“努力義務”を課すことは、憲法上の基本的人権（思想・良心の自由、信教の自由、表現の自由）と矛盾するおそれがあります。共生とは本来、行政によって義務化・制度化される性質のものではなく、地域社会における相互理解と自然な関係構築によって成り立つべきものです。地方条例によって県民に特定の価値観を押し付けることは、地方自治の範囲を逸脱する行為と考えます。 第二に、本条例案には、外国人住民の支援強化や生活支援など、県民の税負担を前提とする施策が多く含まれていますが、その費用対効果や県民への説明責任が十分に果たされていません。外国人の受け入れ・支援施策は本来、国の入管法や労働政策の枠組みで検討すべき事項であり、地方自治体が独自に制度を設けることは、法体系上の混乱を招くおそれがあります。 第三に、条例が制定された場合、他の自治体が追随することで全国的な波及が懸念されます。各地域の文化的・社会的状況を無視した一律の「共生推進」は、むしろ地域社会の分断を助長する可能性があり、慎重な議論が求められます。 以上の理由から、富山県が進めている当該条例の制定には強く反対いたします。県民の意見を十分に聴取し、拙速な制度化を避けるよう強く要望いたします。
116	「在留外国人との共生」と一言で言えば簡単なようですが、現在日本に仕事目的で来ている外国人の中には、日本の文化に反発的であったり、結果的に働かずに居座るような人もいます。本当に日本が大好きで働きたいから行きたい！という熱意を持った外国人はもう既に自分の力で働きに来ていると思います。自分の国では貧しくて仕事がない→日本は住みやすいし仕事を与えてくれるから丁度いいという理由だけで来る外国人が多いです。日本が好きだから、日本の文化を尊重しながら自分も生活するという気持ちの人はほとんどいないです。 日本人の人口減少を理由にその穴を埋めるために、言い方は悪いですが質の悪い外国人を求めて招き入れると、治安の悪化に繋がります。今の素敵な富山がなくなってしまう可能性があります。 また、日本は自然災害が多い国なので、大きな地震や洪水などがあった際には地域の人達みんなで避難所生活が始まります。 地震に馴染みのない国から来た方や、日本に馴染もうとしていない方が、順番に並んで配給を待ったり、静かに避難所で普段よりも不自由な生活ができるでしょうか？福島県原発危険区域の空き家に入ったり、能登の空き家に入ったりする外国人が実際に逮捕されているのを見てみると、家を置いて避難所に行ってもいいものか不安になる方も出てくると思います。 外国人を呼びたいのであれば一定の基準を設けて、きちんと仕事を続けられ、日本の文化を尊重する意志がある人を一定期間だけ受け入れ、期間が終われば帰っていただく流れを作り、それを徹底できるかどうか少人数試すところからスタートするべきだと思います。 シンガポールのように外国人に対する規則を強化し運用できるようにならなければ地域の日本人が安全に生活できなくなるだけです。 そして今回は富山市のみの話になりますが、それが拡がって他の地域にも飛び火する可能性が大いなので辞めて欲しいです。

117	在留外国人による多文化社会を実現するための条例について意見いたします 排外主義を訴えるわけではありませんが、安直な外国人受け入れは慎重になるべきです フランス、ドイツ、イギリスでは外国人を受け入れて、治安が乱れております 日本人の性質は世界でも特異であり「悪い人はいない」「察してほしい」「かわいそうだから」は文化歴史が異なる海外の方には理解され難いと思います しっかりとした対応マニュアル、管理体制、条例等がないまま、安直な労働力獲得のための外国人受け入れは危険です 疲弊するのは現地住民の方々です 富山県のよさ、ひいては日本の良さを守るため、根本的な解決をしてからの実行、それができないなら、受け入れをやめてください 長文失礼いたしました　なにとぞご検討くださいますようお願い申し上げます
118	欧州の移民政策により治安悪化、移民による国家乗っ取りの事例からどれほど多文化共生と謳った移民政策が危険なのかを学んでください。 日本に移民は絶対に必要ありません。多文化共生という謳い文句でこれまでの日本の治安が悪化し、全国的にこの謳い文句によって現地の日本国民の声が封殺され、日本人が移民の奴隷のような扱いを受けているんです。 例えば、スウェーデンでは、かつては家の鍵をかけなくても安心して生活できるレベルの治安がありました。しかしながら同じく“多文化共生”といった移民政策を実行したために、現地の住民は一人で歩けなくなるレベルまで治安は悪化し、移民による放火、強姦、窃盗、殺人など凶悪な犯罪が急増しました今の富山県はかつての家の鍵が不要だったスウェーデンなんです。 また、埼玉県の川口市の例からも分かる通り、外国人を誘致すれば、現地の方々が犯罪の被害に遭うリスクが激増します。世界の移民政策の失敗からも分かるように、この条例を一度でも制定してしまえば、瞬く間に富山県の治安は破壊され、子供達が安心して生活できる場所は決して戻ってきません。 県議会は本当にこのような生き地獄を、富山県民や富山県に観光に来る日本国民、日本に親しみを持つ海外からの観光客が望むと思いますか？ 多文化共生は日本文化、治安を破壊し、最終的には移民による政治の乗っ取りに直結します。 スウェーデン含む、イギリス、ドイツ、フランス、イタリアなどヨーロッパ各国はすべて同じ結果になりました。富山県も、同じように移民政策によって国民の声が封殺され、国民が移民政策に反対すれば、議会の中枢に入り込んだ移民によって逮捕、拘束される、そんな結末を迎えることになりますよ。 そんなことにならないと言う人がいるかもしれませんが、世界各国が“全く同じ”悲惨な結末を迎えたのですから、日本だって例外なく世界各国と同じ結末を迎えるのは火を見るより明らかです。絶対にやめてください。 以上より、「在留外国人との共生社会を実現するための条例」の制定に断固反対します。
119	安易な外国人労働者の推進に強く抗議します。 日本人を適正な賃金で雇わずに外国人労働者を雇うと補助金などということは愚策です。労働者が足りないのではなく低賃金で働く奴隷が足りないだけです。う。そのような環境を改善しない限り労働者は増えませんし、外国人労働者もイヤになって逃亡して不法滞在者になり犯罪行為で稼ぐようになるだけです。 外国人労働者を入れるのであればシンガポールを見習い下記に該当したら即刻強制送還すると決めておくべきです。 ・妊娠　・犯罪　・無許可就労　・ビザ期限切れ　・雇用条件違反　・虚偽申告 《削除》
120	多文化共生する事は誰が望んでいるのですか？富山県民ですか？日本国民ですか？違いますよね。 県民の皆様の総意を受けての事ではないでしょうが。富山県を本当に良くしたいのであれば、多文化共生など要らない。多文化共生を認めたら治安の悪化は免れませんよ。 問題ないから安心しろというのであれば、移民を既に受け入れたイギリスドイツスウェーデンにご家族連れで学んで来てください。もちろん遊びではないので動画やレポートも県民・日本国民に開示し安全を保障して下さいね。それが出来ないなら県民や国民を無視して勝手に多文化共生なんか進めるべきではないですよ。 素敵な富山県です。日本人の日本人による日本人のための古来からの良き富山県でありますように。我が祖父の育った県です。私は穢されるとこは絶対に嫌です。法律の整備もされておらず、県民を守るのは皆様の大切な役目です。
121	移民を受け入れて治安が悪化している国しかありません。日本国民にとって悪いことをしないでいただきたい。国のために、国民のためにやめてください。
122	スウェーデン、イギリス、日本の埼玉県の川口市、大阪府、移民により、文化が壊され、犯罪率が上がり、とても恐ろしい状況になっています。 自国民は夜、襲われるかもしれないと外を歩けなくなっていると。移民の方には帰っていただくよう、他の国もおこなっています。 Xなどで、検索すればその様子がたくさん出てきています。これ以上このようなことを行えば、2本も他国と同じようになってしまいます すべての移民がそうとはいいいませんが、危険性を孕んでいると思います。大反対です。 他の自治体がやっているからと、模倣する必要はないです。富山の美しい景観、建立仏、文化を守るためにも廃止してください。
123	断固反対する。 これまでの他地区の惨状を理解していないのだろうか？ 文化も価値観も宗教観も合わない外国人との共生など、夢物語、単なる空想論、妄想の類だと理解するべきだと思う。 他地区の現実を見ても、県民の現状の生活が脅かされる恐れが高い以上、この様な空論を掲げるのに足る理由とメリット、脅かされないという確約及び、万が一の場合の責任の所在（誰が発起して、誰が賛同したのかを公式に明記する事）をハッキリさせておく必要があると思う。 それが出来ないのなら、この話は無しという事で。最後にもう一度、断固反対します。
124	・外国人を労働者や移民という形で受け入れるのであれば、法整備をしっかりとしてください。 ・ハローワークで仕事を探している日本人がいるのに外国人に県や市の仕事をさせるのは反対です。また、次々新しい課を作る事も反対です。人手不足なら役所を一箇所にまとめ総合行政センターは不要です。 ・企業で外国人労働者を受け入れるのであれば入国から帰国まで責任を負わせ、不法滞在や全ての犯罪に対して本人同様に処罰を求めます。
125	日本のルールを守れない外人との共生なんて無理です！宗教、食べ物の押し付け、反日など、日本のことはATMとしか見てないですよ。衛生概念も全く違い、治安が悪化するだけで日本にとって全くメリットはありません！このようなおかしいことは二度と目指さないで下さい！移民反対！外人との共生は無理！共生社会反対！！
126	「在留外国人との共生社会を実現するための条例」に反対します 日本はすでに多様性に溢れている国家です それなのに海外の言いなりになって共生社会を実現しなければならない理由がわかりません 同じ事をイギリスやドイツが行った結果外国人に町を乗っ取られ住民が移民におびえて暮らす生活を強いられています これの何処が多様性なのでしょう？手遅れになる前に撤回を求めます
127	日本人の文化や慣習に馴染もうとせず日本語を学ぼうともしない外国人はもちろんのこと、文化慣習や衛生観念の異なる国から外国人を入れても争いが増えるだけで地域の活性化に繋がるどころか治安悪化、経済の衰えに繋がるだけです。 移民を入れて国ごと乗っ取られたイギリスやドイツ、フランス、スウェーデンにアイルランド、オランダ、ベルギーと挙げればキリがないほど欧州は移民政策に失敗し、今これらの国が荒廃しかけています。 日本でも外国人がごみ出しのルールを守らず悪臭を放ち放置し、東京ではねずみが発生するほど住宅環境が悪化して問題になっています。外国人に注意しても守らないどころか逆上する始末です。 外国人との共生が不可能である事例をいくつか挙げます。 佐賀県伊万里市ではベトナム技能実習による殺人事件が起きました。何の罪もない日本人女性が命を奪われ、その母親は自分の目の前で娘が殺されるのを見て自身も大怪我を負いました。 千葉県成田市で無職のベトナム人が日本人の高齢夫婦の家に押し入り夫婦を殺傷し強盗殺人未遂の事件を起こしました。このベトナム人は夫婦の首を切りつけており、明らかに命を狙った犯行です。 昨年には東京高尾駅の近くの草むらで31歳のパキスタン人の専門学校生による女子高生レイプ事件も発生しています。《削除》 このように外国人を受け入れる共生とは受け入れた側の国の構造そのものを変えるものであり、共生など絵に描いた餅であることが移民政策に失敗して国が荒廃した欧州を見れば容易に分かることです。共生は強制するものではありません。 むしろ自分の意思で日本に来ている以上、日本に合わせる必要があります。多文化との共生に興味がある人間が自分達で留学やホームステイをしてその国を体感すれば良く、市民に外国人との共生を強制すること自体が誤りです。 また人口減を外国人労働者で補うことも治安面・経済面からもまったくプラスではありません。働き方改革という名のもと、もっと働きたい日本人がいるにも関わらずそれを法律や年収の壁で拒まれている現状があります。新内閣が始まり、残業時間の規制緩和が政府によって指示され、これから労働基準法の改正の可能性も十分にあり外国人雇用を優先して働きたい日本人の雇用機会を奪うことはあってはなりません。 市民が多文化共生を望んでいないにも関わらずそれを強制させる条例は全くもって不要です。

128	外国との共生により、これまで培ってきた富山の文化やアイデンティティが失われる恐れがあるから。現に、諸外国では治安・景観は悪化、宗教（土葬、ハラルなど）問題、などが多発し、対処できなくなっている。富山県も諸外国同様、対処するのが難しいことは容易に推測される。今いる県民が住みにくくなったり、県職員の負担も増えるような条例を制定する必要がどこにあるのでしょうか。
129	外国との共存を望んではいけません。イギリスやフランス、イタリアなど先に移民を受け入れた国々は今や移民に乗っ取られています。文化も宗教も安全で豊かな暮らしを奪われ、必死に取り返そうとしています。今なら踏みとどまれるのに何故同じことをしようとするのでしょうか？現にベトナム人による強盗、中国人による車庫飛ばしなど既に犯罪が行われています。治安の悪い土地に住みたい人はいるのでしょうか？治安の悪い土地で子供を産み育てたい人はいるのでしょうか？よく考えていただきたいです。移民、在留外国人を増やすことより、日本人を増やす政策を考えるべきです。また宗教問題はとても簡単なものではありません。もし日本一水が美味しい富山で、土壌汚染に直結する土葬がしたいと言ってきたら？《削除》一体どのように防ぐつもりでしょうか？多文化共生などという途方もないことに目を向けるより先に富山県民の生活を良くすることを考えてはいかがでしょうか？
130	もうすでに、埼玉、大阪、そして私の住む川崎市にも移民が押し寄せています。正当な理由で日本に住む外国人もいるでしょうが、中には違法の同胞を隠し、住ませ、群れを成している人たちがいます。警察でさえ押さえられなくなる勢いで、今、その群れは増え、増長し、もとより住んでいる日本人に危害を加えています。これは悪手です。一度こうなると、取り締まりが非常に難しくなります。その点、まだ今は富山県は間に合う段階です。今回は是非見送り、他の自治体が堕ちて行く様を見届けて下さい。外国人を増やしても、その土地に日本人は行かなくなります！
131	しっかりニュースを見られてますか？最近外国籍の方の犯罪が多くなったり治安が悪くなっているのが目に見えて分かりますと思います。今まで先人の方達が必死で守ってきた治安を壊さないでほしいです。それに外国の方を入れても全員がしっかり仕事してくれるわけではありません。世の中は全員が善人ではないことを知っているはずです。そんなに世の中甘くないですよ。私達が酷い目に遭っているのに外国人を優先するのはおかしいです。まずは県民や身近な所に目を向けたほうがいいです。
132	共生は市民とし日本人として大反対です！！私達は仕事の関係でこちらに移り住みました。小さい子どももいます。全然賑やかなところではないし、遊びにいくにも毎回同じとこばかりで刺激はないし、みんななぜか右側ばかり走行して邪魔だけど…立山は圧巻だし空気も水も食べ物も美味しくて落ち着いて生活できてます。しかし、富山市が人口減ってるからって外国人住ませるのは違うと思います！《削除》外国人が増えれば治安悪くなるし、最悪私達市民が追い出される危険性があります！なぜ私達日本人がそんな思いしなないといけないんですか？移民を受け入れた国々の現状や埼玉、北海道、福岡などの現状知ってますよね自分達の利権のためですか？もし、富山市だけでなく県全体で外国人が増えるようならここに住んでる人達も生まれ育った人達も富山から離れると思いますよ。まだ決定してないなら、考え直して下さい。ちなみに、外国人全員が悪人とは思ってないですが、リスペクトがない外国人が法をすり抜けて悪さしてるのは見た目だけじゃ判断できないのだから最初から増やさない方向のほうが絶対いいと思います。
133	Xで「新たな総合計画の素案」意見募集をしているのを拝見し、意見を提出いたします。「在留外国人との共生社会を実現するための条例」に反対します。人口減少・労働力確保・産業の維持など課題認識をされていることは理解しますがその解決策としての、もしくはその課題を口実とした、外国人受入れ促進に反対します。これは実質的な移民政策です。これに反対いたします。外国人受入れはこれら課題の解決に貢献しません。受入にともなう社会の混乱やもともと富山に住んでいる日本人の雇用環境悪化など、あとでもとに戻すことのできない深刻な悪影響のほうが明らかに大きくなります。アメリカ、欧州諸国、韓国、日本のいくつかの自治体などすでに混乱をきたしている先例をもっと見てください。宮城県知事選挙がなぜここまで注目されているのか、もともと富山や宮城に住んでいる人の民意をもっと見てください。貴重な富山県の予算を、日本国民の観光客誘致や日本国民の移住などに振り向けてほしいです。美しい安全な富山県を守ってください。どうぞよろしく願いいたします。
134	私は、地元富山に在留外国人を積極的に受け入れることには反対の立場です。その理由は、欧米の例が示すように、一度受け入れを始めてから問題が顕在化した場合には、「入ってからでは手遅れ」になることが多いからです。文化的・社会的な変化は不可逆であり、元の秩序を取り戻すことは極めて困難です。欧米では、移民受け入れを推進した結果、治安悪化や地域対立などの問題が深刻化しました。多様性は理念として美しく響きますが、現実には価値観の衝突やマナーの違いからコミュニティの崩壊を招く例も少なくありません。日本、富山がその道をたどれば、これまで世界に誇ってきた「安全で秩序ある社会」は確実に損なわれるでしょう。日本では、子どもが一人で電車に乗れるほどの安心感があります。忘れ物が戻ってくる社会、列に自然と並ぶ文化、電車内の静けさ、こうした当たり前の日常は、長年かけて築かれた日本人の「マナー」と「相互信頼」の上に成り立っています。しかし、異なる価値観を持つ人々が一度に多く流入すれば、これらの文化は簡単に崩れてしまいます。マナーや習慣は法律では守れず、一度壊れた秩序を元に戻すことはできません。もちろん、すべての外国人を否定するわけではありません。日本の文化を尊重し、マナーを守って共に生きようとする人々は多く、そうした方々は心から歓迎すべき存在です。問題は、文化の違いを理解しようとせず、自国の価値観を日本に持ち込み、結果的に社会の調和を乱してしまうケースにあります。我々が大切にしてきた「安心」「信頼」「調和」という文化は、一度失えば取り戻せません。だからこそ、外国人の受け入れについては「まず受け入れてから考える」ではなく、「入ってからでは手遅れ」という視点で、慎重に判断すべきだと考えます。多様性の名のもとに文化を失うことがあってはならないのです。以上です。
135	条例について反対意見を申し上げたく、メールをお送り致します。私は、多文化共生と外国人人材活躍によって富山県は活力ある県になることはできないと思います。なぜ多文化共生と外国人人材活用を県をあげて積極的に行う必要があるのでしょうか。富山県民の皆様の民意は問われたのでしょうか。私は今年の春に初めて富山県を訪れました。神々しさに溢れる立山連峰が見られる美しい街の景色に深く感動しました。富山県の美しい街並みや豊かな自然は、先人の方々が多大な努力をして維持されてきたものだと思います。今、日本に労働者としてやってきている外国人は全員が高度人材と呼ばれる方達でしょうか。日本人と日本の文化を尊重する方は少ないと私は考えています。この数年は外国人犯罪のニュースを見ない日はなく、日本中の至る所で外国人が犯罪を犯しています。富山県に《削除》を積極的に受け入れることを反対致します。外国人のおかげで人口が増えたとしても、それが治安悪化に繋がれば本末転倒です。「在留外国人との共生社会を実現するための条例」の制定することをお考え直してください。政府が外国人政策をもう一度見直す方向に舵を切りました。外国人に対する法整備が整うことを待つことはできないのでしょうか。私は新潟県出身ですが、現在はチェコ共和国に暮らしております。海外で働く日本人は他国において、日本政府や各市町村が行なっているような手厚い支援制度は受けていません。皆、自力で行政手続きを行っており、現地語を習得する努力をしています。外国人に対して、過剰な支援を行うことは相互主義ではないと思います。なぜ日本にいる外国人だけ手厚く支援してもらえるのか、疑問に思います。そして、日本は既に独自の素晴らしい文化があります。子供達のグローバル意識を醸成する前に、まずは自国の文化を誇りに持つこと、日本人である自分に自信が持てるような教育や育成支援事業を行っていただきたいです。私は富山県民ではありませんが、富山県が好きで応援している者としてメールを送らせていただきました。一意見として耳を傾けていただけましたら幸いです。
136	両親が富山県出身であり、戸籍があります。年齢的にこれまでの勤務企業は定年退職し第二の働き方を模索しています。完全な移住ではないですが、季節的に、春から秋にかけて、稲作や夏秋野菜生産期に移住する事ができれば、それを第二の人生の選択肢になるのではと考えます。また昨今リモート勤務も可能ですになり若年層も都会との2面生活も今後考える人が増えてくるのではと思います。そのような方を受け入れる計画も加えられてはと思います。
137	外国人の受け入れは止まるべきだと思います。日本の法整備と外国人の習性が噛み合っておらずデメリットのほうが多く存在すると思います。近年に起きた電線が盗まれたために、鶏が多く亡くなった事件もありました。今の日本は日本人の習慣や性格で成り立っている部分が多いと思うので外国人が増えればそういった事故や事件が増えると思います。
138	事実、移民を入れた事により犯罪が増加し、治安が悪くなったので、外国人とは共生は不可能と考えますので、共生社会を実現させないで下さい。
139	茨城県でも外国人労働者を沢山受け入れようとしています しかし既に外国人による車の窃盗、銅線、農作物の窃盗、空き巣、殺人事件などが多発しています 外国人を受け入れる前はこんなに頻繁にニュースで流れて来たことはありませんでした 労働力不足を低賃金な外国人で補おうとするのはやめて下さい
140	産業・GXという政策分野が掲げられているが、GXとして具体的に何に取り組むのか。脱炭素経営への転換は、特に中小企業にとって大きな負担となる可能性がある。グリーン成長産業分野への参入促進、水素・アンモニアなど産業分野の脱炭素化に寄与するエネルギーの活用促進などGX分野の取組みを示すべきである。
141	36ページと56ページに「安全確保のための不便・不利益に対する受容性の向上を図る」との記載があります。意見交換会の時にも発言させていただいたように思うのですが、不便や不利益を受け入れることを前提としているように読み取れます。土木行政として事業費・事業量を確保し、インフラ整備を進めることが本来あるべき姿であると考えます。人口減少社会において不便・不利益を受け入れると受け取られる記述ではなく、「県民自らがインフラを守り支える意識の醸成」などといった表現のほうが理解できるのではないかと思います。修正をお願いしたく、宜しく願いいたします。

142	（安全確保のための不便・不利益に対する受容性の向上を図る）についてはいささか違和感を感じます。今あるインフラを自分事化する精神は重要と考えますが、この表現からはある一定の不便・不利益の受け入れ（妥協）を強要されている感じが致します。 果たして一般県民市民にそのような表現は受け入れられるのでしょうか。行政が県民の命と財産を守るためにインフラの整備を進めるといったことが感じられる表現を切に望みます。
143	日本人と共生しようという意識は在留外国人が持つべきであり日本人が環境を作らないといけないというのは違うと思います 文化も習慣も違う国に望んで来ているのであればそのルールを守るのは当たり前です 家族の会社にも外国人労働者がいますがルールを守らず大変な思いをしています ここは日本です 日本のルールに従うのは当たり前です 税金をつかってそのような条例を制定することには断固反対します
144	老人ホームや一時預かりする場所はあるのに、寝たきりになってしまった若者や中年層が家庭の事情で一時預かりしてもらえないので障害のある若者・中年は富山に住んでくれるなど何十年も前から言われているような感覚を覚えていました。 確かに寝たきりになってしまえば何の役にも立てないのは理解出来ます。 しかし、そんな我々を何故生かしているのか理解ができなくなりました。 幼稚ですが、国の偽善で生かされている気がして苦しいです。 この様な若者・中年層が気兼ねなく生きていても良いのだと思えるような富山になれば良いなと思いました。
145	外国からの移民を受け入れて、治安の悪化が心配です。 働き手になるような教育水準の移民のみを受け入れられるのでしょうか？犯罪歴のあるような移民では困ります。移民が犯罪を犯した時に国へ強制送還などの法的措置は取れますか？ 市町村に何人、どこの国から移民が来る、など何も知らされていません。この計画に反対です。
146	■総合計画素案33ページ 「在留外国人との共生社会を実現するための条例」について。 外国人住民との共生を進める前に、まずは日本人県民が安心して暮らし、子育てし、働ける環境を整えることが先決ではないでしょうか。なぜ外国人材頼みなのか？。県民の根本的なニーズと乖離がありませんか？ 日本人県民の生活基盤を強化する施策に重点を置くべきです。外国人材の活用は補完的な位置づけにとどめ、県民の生活と将来に真正面から向き合う施策を最優先に検討していただきたいと強く要望します。 ■総合計画素案55ページ 「外国人材の活躍と共生社会の実現」について。 外国人住民の増加が地域の活力につながるという前提に疑問があります。文化的背景の違いや言語の壁など、共生には多くの課題が伴います。県民の間に不安や摩擦が生じる可能性もあり、安易な受け入れ拡大は地域の分断を招きかねません。 現在、各地でイスラム教モスク建設反対や中国人〇千人移住マンション建設反対、外国人学校建設反対などの住民運動が起きている事をご存じですか？外国人が日本の文化を尊重し、日本人と仲良く生活していたらこのような反対運動は起きていません。外国人との共生は不可能と多くの国民が感じているから反対の声が上がるのです。富山県だけは上手くやっていると自信があるのですか？ ■総合計画素案20ページ 「外国人児童生徒の増加に対応するため、日本語指導や生活適応指導などの充実を図る」について。 この施策は、外国人労働者の受け入れに加えて、その家族の帯同を前提としているように見受けられます。結果として、言語や文化の壁を抱える外国人児童が増加し、教育現場では日本語指導や生活支援に多くの人的・時間的資源が割かれることとなります。 しかしながら、教育現場のリソースは限られており、教師のマンパワーが外国人児童の支援に偏ることで、日本人児童への教育の質が低下する懸念があります。従来のようなきめ細やかな指導や学力向上支援が十分に行き届かなくなれば、保護者の間に不安が広がり、富山県で子育てを続けたいという意欲が損なわれかねません。 ■富山県民の方から富山県総合計画を見てくれと依頼があり目を通しました。外国人問題は地域を越えて多くの人々が注目しているという事をご認識ください。
147	多文化共生という名の移民受け入れをやめてください。住民は望んでいません。移民が増えて治安が崩壊し、女性や子供への性犯罪が激増しているヨーロッパの現状を見てください。私たちの子供や孫を守りたい。守ってください。日本人が安心して暮らせる未来を壊さないでください。在留外国人との共生社会を実現するための条例（仮称）など作らないでください。これ以上移民を受け入れないでください。
148	富山に移民は必要ありません。日本のルール、マナーを守らない外国人は必要ありません。 日本語の能力など厳格なルールを設けてください。外国人に補助金をつかうなら、まず日本人に補助金をつけてください。 外国人をいれるその前にできる事があるはずです。 労働基準法を厳格化して、人不足を作りだし、外国人を入れているようにしかみえません。 所得税の103万の壁の上限引き上げ、労働基準法の条件緩和などの方向性で日本人が働ける環境を整えてください。 企業の第二新卒の年齢を撤廃させるなど、眠っている労働力をいかす方向性をお願いします。
149	在留外国人との共生社会を実現するための条例 率直に言いますと大反対です。 地方はただでさえ人が少ないのに外国人を大量に入れたら乗っ取られます。そんなことに税金を使わずに、子育てへの支援を強くして人口を増やすべきです。 外国人についてはしっかり調べていますか？調べていれば、共生なんて不可能だとわかるはずです。 彼らは性善説ではなく性悪説でなりたっている。日本を外国に売るのは辞めてください。
150	移民政策について 反対します。移民政策を進めるのであれば登山旅行で富山県に二度と行きません。 日本の多くの民意も高市政権も移民一旦停止ですよ。
151	外国人の中には全く日本の文化を理解しようとしない、日本語も学ぶ意欲の無い方達も多くいます。異なる宗教観の方、《削除》一度受け入れたら無尽蔵に家族親族が増えていき、主張は大声になり、トラブル、生活保護申請、犯罪、増えていきます。（実際目にしておりました）人手不足は日本人で解消しないと大変なことになります。急がば回れです。今一度お考えください。
152	多文化共生は無理だと欧州の例から学ばずに強行すれば日本の伝統と文化が破壊されます。一度立ち止まって下さい。 私は富山県民ではありませんが、学生時代の友人が富山県民です。関係なくないのでメールしました。宜しくお願い致します。
153	「在留外国人との共生社会を実現するための条例」に反対します！ ヨーロッパでもアメリカでも、外国人を受け入れて国がめっちゃくちゃになっています。一度受け入れたら、もう出ていってくれないです。 人口の少ない富山県に受け入れたら、あっという間に日本人は少数派になり、日本人に不利な政策ばかりになることでしょう ドバイみたいに、外国人には定住させないようにしないと乗っ取られますよ。
154	多文化共生という目標を地域づくりにおいて構想しているようだが、利権に目がくらんでいる政治家やJICAのような団体の提唱する口当たりのよい言葉にだまされてはいけない。富山県は文化的にも経済的にも豊かな魅力的な土地である。せっかく続いた伝統を途絶えさせてはいけない。《削除》 フランス、ドイツ、イギリス、スウェーデンなどのヨーロッパの現状をよくみてほしい。《削除》 強盗、殺人が日常化し、女性が安全に外を歩けなくするような地獄となる政策は即中止すべきだ。
155	「在留外国人との共生社会を実現するための条例」端的に書きます。辞めた方がいいます。 共生の前に、日本人が産産勉強就職生活出来ることに税金を使って注力すべきです。日本人の子供が増えていくことにこそ全力で取り組むべきです。 富山県が外国人にとってどれ程魅力的か考えたことありますか。屈指の豊かな水資源、美しい自然と海産物農作物。それを、価値観の違う外国人が日本人と同じように守るとお思いですか？外国人が富山に移住して、日本人の価値観に沿うとお思いですか？少ないうちはそうでしょう。 でも普通に考えて、自分たちのコミュニティを作り、自分たち流に暮らす方が彼らにとって快適でしょう。少しでも日本人の介入しないエリアを作る方が快適でしょう。それは富山に暮らす大多数の人々にとって、大きなリスクではありませんか。 これだけ日本中、世界中で外国人の流入によって摩擦が起きている昨今、なぜ共生させたいのか。なぜ共生を考える必要があるのか。今ならまだ考え直せます。日本の宝、日本人から見ても宝石のような富山県をどうか、今後も守ってください。 川を汚され、ゴミの捨て方一つ守らない、騒音、女子供をいたぶるように示威行為をする。人数が増えればそうなるんです。抑える法律がないんです。川をさい、ゴミを片付け騒音に苦しめられるのは日本人、そういう自治体はすでに日本にたくさんあるんです。 どうかお願いします。外国人の流入を抑えてください。よろしくお願いします。

156	ロンドン市長やニューヨーク市長候補のようにイスラム教徒が政治の世界に進出していますが、日本は他民族国家ではなく、争いが起こるだけなのでやめて欲しいです。特定技能外国人制度でも外国人受け入れに様々な助成金が支払われているので外国人優遇になります。実際に全国では派遣切りが起きています。外国人を雇い入れると80万円近く助成金が支払われるのはおかしいと思います。また日本政府はずっと国会答弁なので、移民政策は取らないと明言していて、自室の移民が始まっているのはとてもおかしいです。特定技能2号の無期限在留も家族帯同も即刻やめて欲しいです。
157	在留外国人との共生社会を実現するための条例について 多文化共生などと謳っていますがどうしても価値観や宗教感が全く違う人種を受け入れなければいけないのか理解に苦しみます。 移民は誰しも大人しく友好的な者だけとは限りません、《削除》共生とは互いが互いに対して思いやると言う意味です、片方だけが一方的に譲歩するものではありません。反論や意見を潰してただ受け入れると押さえつけるのは共生の意味が破綻している事をご理解いただきたいです。 日本の文化や治安の良さはそこに住んでいた日本人の国民性によって培われて来た賜物です。それをめちゃくちゃにする様な条例は国民によって成り立つ国家に対する反逆行為です。今すぐ白紙にして、日本の県民を蔑ろにしない寄り添った政策を考えて下さい。
158	人口減少、労働力不足…などを理由に外国人を受け入れ、擁護していく政策には疑問があります。護られなければならないのは地域住民であり、日本文化、慣習、道徳…それらを学び守って行かねばならないのは外国人です。端から価値観の違う人たちが永住することなど大半の方々は望んでいません。在留外国人との共生社会を実現するための条例(仮称)(未定稿)制定に反対します。
159	アメリカとスイスで外国人労働者をしてきた視点から、以下の意見を提出いたします。 招き入れる国で１０年以上生活経験のある一般日本人からアドバイスを得てください。 A相互理解するためには、ホスト国の公用語を基本とするべきです。外国人労働者の母国語を基準とする外国人受け入れ諸国はありません。 B「共に安心」を構築・維持するためには、平等＆公正な法規定の適用と世界基準の契約書（契約解除条件・事件発生時の裁判場所＆通訳弁護士を含む費用・プライベート生活で不備事案発生時の日本人責任者指定など）が必要です。 C最初からコミュニティー結成まで公機関が支出＆尽力するのは、外国人たちの日本語＆生活習慣習得・コミュニケーション・相互理解の妨げになります。最低１～３年間はホームステイ生活をさせるのが良いです。その際に発生する問題案件・事件解決最終責任は、富山県になります。 D定着支援が目的に入っているのなら、全国他県の外国人による犯罪率・脱走率・税金＆社会保険不払い率などにかかるマイナスコストも外国人労働者受け入れ諸外国のように、１０年～５０年スパンで計算して、全住民に周知するべきです。
160	意見書 多文化共生と外国人材活躍による活力ある地域づくり 外国人との共生について基本反対させていただきます。私の住む高岡では外国人による金属窃盗が多発しており、住民との間でトラブルが起きております。もし、仮に、仮に入れるにしても相当厳格な基準が求められるように願います。 日本語（ひらがな、漢字、カタカナ）に堪能なこと 大学を出ていること、何らかの高度な技術を持つていること（低度人材を入れない） 日本の文化や慣習を守り、大切にしてくれること、謙虚に学ぶ姿勢があること （天皇陛下）国体を守ることに協力的なこと 地域住民と仲良くやれること 自分たちの文化や宗教観を押しつけないこと スパイでないこと。 亡命や難民など、個人のいいわけや欲望（日本のインフラへのただ乗り、国民健康保険、出産育児一時金、医療保険、高度な治療）を持つ者を入れないこと。 亡命や難民を装った者でないこと。 宗教観の押しつけ、治安を乱す、わがままや常識のなさから、住民とトラブルを起こす、税金の滞納、医療費の滞納など、破れば、即、永久に国外退去の法の整備。 など、厳格な試験と基準を設けることを願います。 日本国内からの移住者について 同じ日本人同士における県外からの移住にしても、質の良い住人に来ていただくことも大切かと思います。県民の生命線ともいうべき車、自動車税の大幅な減税、県民税の減税なども視野に入れていただきたいと思います。
161	外国人との共生に関しては、これ以上積極的に外国人を増やす必要はないのではないかと思います。他県の一部地域では移民問題が非常に深刻化しており、デモも活発に行われている。富山も昔と比べて外国人があきらかに多くなったのを肌で感じており、不安を感じる。 子供が減ってきている危機感もすごく感じるが、だからこそ、出生数増加にもっと力を入れていただきたい。すぐにできることとして、「妊活の知識を広める活動」や「結婚へのサポート」をもっと積極的にしたらどうかと思う。すでにされておりとても良いと思うが、自分から情報を取りにいかないと辿り着けないのが現状かと思う。「結婚したらすぐに赤ちゃんができると思っていたらできない」と困っている人もたくさんいる。そのため、ネット広告やビラ配り等、もっと知ってもらう活動が必要だと思う。学校教育にも積極的に取り入れてほしい。また、サポートするプロのスタッフももっと呼び込む必要があるのではないかと思います。 それから富山は子育てしやすく住みやすい土地だと思うので、若者や県外の人にアピールできることはたくさんあると思う。 もっと詳しく書きたいところですが、時間がないのでひとまず以上です。
162	担い手の多様化について。現在日本で働きたくても働けない人は290万人、一方で既に入れた外国人労働者は230万人。人手不足の発生はしていないと考えます。まずは外国人ではなく日本人を正規職員として雇用する事が重要かと考えます。 また、この30年間にやってきた外国人により生活上の安全が脅かされてきました。かつての日本は世界で最も治安の良い社会と言われてきましたが、外国人が増えるにつれタイヤ、自転車その他の窃盗など犯罪が増え、それまで家の玄関や物置きの鍵など無施錠でも安心して暮らせていた生活が一変しました。それは子供たちを取り巻く環境も変化させ、子供たちだけで遊ばせる事は危険と大人に認識させ始めました。その事により働きにくい、子育てしにくい社会になってしまったと考えます。子育てしにくい＝人口減少に繋がるでしょう。 最近、外国人県職員による問題が報道されました。県民は大きな不安を持っているのではないのでしょうか？絶対登用するとは思いませんが、適正な部署での採用を求めます。まずは、日本人の雇用を重視した政策を強く求めます。

163	富山県の施策について下記のように考えるので、それぞれ計画に反映いただきたい。 【ウェルビーイングの向上について】 素案の基本理念において「ウェルビーイング先進地域」が掲げられているように、ウェルビーイングの向上は重要であるが、その鍵となるのは「時間」であると考え。自分のしたいことにより多くの時間を費やすことができれば、より幸せになれるのではないだろうか。これを実現するため、ワークライフバランス、とりわけ労働時間の短縮が重要と考える。仕事が生きがいという人もいるだろうが、そうでない人も多い。そのような人にとって、労働時間は短いほうがよい。ヨーロッパなど海外の働き方を参考にすれば、無駄な仕事をなくし、生産性を高めることで給料を据え置いたまま労働時間を今よりも短くすることは可能と考える。テレワークや電子申請といったデジタルトランスフォーメーションも追い風になっている。「長時間働いた者がえらい、早く帰る者は不真面目」という旧来の風潮を一掃し、富山県がウェルビーイング先進地域になるとともに短時間労働先進地域にもなるよう尽力いただきたい。 【学校の業務分担について】 02教育において、教師が児童生徒と向き合う時間を確保するとされているが、教員の業務過多によりこどもの教育環境に悪い影響が出ているので、速やかに改善いただきたい。種々の報告によると、教員が学校行事の企画や保護者対応などに多くの時間を取られ、授業準備の時間を取りづらくなっていることが明らかになっている。学校行事などの業務は教員以外の者でもできるので、教員とは別にこれらの業務をするための職員を配置し、教員がこどもと向き合う業務に専念できる環境を整えていただきたい。 【外国人材の受け入れについて】 06人材活躍・共生において、条例を制定し外国人の相互理解、受入・定着に向けた支援に取り組むとされており、もちろん外国人を不当に扱うことは許されず、相互理解に努めることは重要だが、外国人であっても日本においては日本のルール（法令のほかマナーや道徳といった不文律も含めて）に従ってもらわなければならないという点は強調しておきたい。埼玉県某市では外国人が多数住むこととなった結果、治安が悪くなったと言われており、県内の身近にも騒音やゴミの出し方などで地域に迷惑をかけている外国人家族がいる。県が積極的に外国人を招く必要はなく、日本のルールに縛られることを了承の上でなお入国したい外国人のみを受け入れるべきと考える。人手不足だから外国人材を取り入れて働いてもらおうという発想はかつての奴隷制度に類似しており不適切ともいえる。まずは日本人の労働力の有効活用と生産性の向上を模索すべきである。また、条例案に外国人の文化を理解し共生するとあるが、外国人だから日本の文化に合わせなくてよいと解釈されないよう十分配慮していただきたい。 【人手不足対策について】 06人材活躍・共生において、人手不足の根本的な解決に向けて特定の職業に対する価値観の変容に取り組むとされているが、人手不足が生じている一番の理由は価値観ではなく待遇であると考え。なお、ここでいう待遇とは給料のほか労働条件や労働環境も含むものと解釈してもらって構わない。人口減少を背景に労働者はどのような職業に就くかを自分で選べる時代になっており、待遇がよくない業界は選ばれない世の中になっている。素案においてエッセンシャルワーカーは人手不足が深刻と指摘されているが、エッセンシャルワーカーの多くは仕事内容が過酷であるにもかかわらず、それに見合った待遇を受けられないことが主な要因ではないかと思われる。04健康・医療・福祉において人材の養成・確保を図るとされているが、医療・介護・福祉についても同様であり、人材を養成する体制が不足しているのではなく、待遇が不足しているのではないかと思われる。待遇がよくなれば自然と悪い業界イメージも払拭されるだろう。問題の本質を見極めていただきたい。 【道路ネットワークの形成について】 08まちづくり・交通において、安全で快適な道路ネットワークの形成を図るとされているが、素案でも言及されているように富山県の人口は減少傾向であり、今後も減少が続くことが予想されることを踏まえると、交通量も減っていくことから多額の費用をかけて現在のネットワークをさらに便利にする必要はないと考える。たとえば、高岡環状道路において渋滞緩和等を目的として大規模な改築事業が行われているが、人口減少により渋滞も自然と緩和されていくことが予想されるため、費用対効果が釣り合っていないと感じられ、その必要性には疑問を禁じ得ない。事業が完成した時には、その立派な道路を走るための車がないとなれば全く笑えない。人口減少を踏まえるとむしろ道路ネットワークの縮小を検討すべき時期とも言え、現実的な施策になるよう十分考慮いただきたい。埼玉県八潮市で道路陥没の事故が起きたことを受けて富山県でも下水道の緊急点検が行われていることと思われるが、今後は既存インフラの維持管理に重点を置いてもらいたい。 【コンパクトなまちづくりの推進について】 08まちづくり・交通に関し、人口減少によりバス路線の維持に支障が出ていることや、異常気象による洪水やがけ崩れなどの災害発生リスクなどを踏まえると、山間部や郊外での宅地開発を抑制し、中心部への移転を促してコンパクトなまちづくりを推進していただきたい。都市のスプロール化を防ぐ目的で県内には市街化調整区域が設定されているが、富山市、高岡市、射水市の3市のみであり、また都市計画区域外の山間部は規制の対象外となっている。しかも市街化調整区域であっても一定の要件を満たせば住宅を建てられる仕組みになっており、この制度のみでは対策として十分とは言えない。郊外で宅地開発がまだに行われている一方で中心部では空き家が問題になっている現状はいづつであり、行政の介入が必要と考える。なお、08まちづくり・交通において、中山間地域の活性化とあり、具体的にこれがどのような施策を指しているのかわからないが、中山間地域の集落の活性化を指しているとする施策としての外れであり、現実的に考えるとむしろ平野部や中心部への移転を促すべきである。 【車社会の見直しとまちなかの再興について】 富山県は車社会が進んだ結果、郊外の幹線道路沿いに並び立つ大型店舗ばかりが賑わっており、他の地方都市と比べてもまちなかの衰退が著しいと感じている。ショッピングセンターの中は大勢の人で賑わっているが、外は車ばかりで歩行者はほんのわずかという状況は、活気のある県外のまちなかと比べると物悲しいありさまである。高齢ドライバーの増加、公共交通機関の利用者減少、まちなかの衰退と空き家の増加が問題となっている現代においては、車中心の社会を見直し、まちなかの再興を目指すべきと考える。これは民間の働きのみでは実現困難であるから、行政に旗振り役を務めていただきたい。 【「寿司といえば富山」について】 「寿司といえば、富山」のブランディングのおかげか、富山駅前の寿司屋は休日を中心に長蛇の列となっている。駅前に賑わいをもたらしている点は好ましいが、あまりに長い列になっているため待ち時間が長いことによる不満が出ていないか心配である。「寿司といえば、富山」と聞いて富山にやってきたのに混雑で食べられなかったとなれば逆効果である。宣伝活動とともに観光客の受け皿となる店舗の整備も同時に進める必要がある。そのような施策も行っていただきたい。博多ラーメンで有名な福岡県福岡市では博多駅前のビルに「博多めん街道」があり、多くのラーメン屋が連なっている。たとえばマリエとやまに寿司屋のフロアを設けることも一つのアイデアと考える。 【既存施策の廃止について】 素案でも言及されているように社会経済情勢は激しく変化しており、本計画の策定にあたっては今の社会経済情勢に対応した施策を検討されたことと思われるが、財源や人材は限られているため、新たな施策を始めるには既存の施策のうち何かをやめる必要がある。知事並びに幹部には新たに始める施策のみならず、やめる施策も責任をもって決めていただきたい。 【補助金頼りの事業の見直しについて】 素案の中に「支援」という言葉が多くみられるが、補助金の交付を指しているのであれば再考を促したい。あるビジョンの実現のために補助金を交付するやり方は、補助金がなくなれば途端にビジョンが崩壊するリスクがあるので、補助金頼りではなく、補助がなくともビジョンが実現されるような仕組みづくりや市場づくり、周知啓発活動などに注力してもらいたい。税金の無駄遣いを減らすためにも、既存の補助制度を見直し、真に必要なもの以外はやめるよう精査いただきたい。 【問題の本質を見極めた施策実行について】 素案には多くの課題と施策が載っており、富山県が解決すべき問題が山積していることがわかる。これらの問題すべてを解決するのは非常に困難であろうと想像されるが、これらの問題のうちいくつかは原因を突き詰めれば集約できるのではないかと感じる。身体で譬えるなら、発熱、せき、鼻水、だるさといった症状の原因をたどるとすべてあるウイルスによるものと判明するようなことである。根本的に解決するには、症状ばかりに着目するのではなく、何が一番問題なのかを的確に把握し、そこに集中して対処することが重要だが、縦割りの組織となっている行政は解熱剤を処方したり、咳止めを処方したりといった症状一つ一つに対処することは得意だが、全体を見渡して問題の本質を見極めることは苦手としていると感じる。大きな問題を解決するには部局横断的に何が一番問題なのかをしっかりと見極め、集中的にその対処を行う必要があり、これはボトムアップでは難しいので、知事並びに幹部には何が問題で何にお金と労力をかけるのか、あるいは何にお金と労力をかけないのかを的確に判断していただきたい。 【その他】 ・1ページに「デジタル化・DXが加速する中」とあるが、デジタル化とDXは違うのか。デジタル化は以前から進んでおり、特に昨今加速しているのはDXではないか。なお、「DX」のみでは説明不足の可能性があるので、「DX（デジタルトランスフォーメーション）」と説明を入れたらどうか。 ・38ページに「自然・風土・文化を活かした創造的で居心地のよい選ばれる地域づくりを推進します」とあるが、創造的な地域づくりとはどのような地域づくりかわからないので、わかりやすい言葉に変えたほうがよいのではないか。 ・38ページに「富山地方鉄道鉄道線」とあるが、「鉄道」を重ねる必要はあるか。また、「万葉線等」とあるが、県内に鉄軌道設備はそれほど多くないので列挙してはどうか。 ・48ページに「器をはじめとした伝統工芸」とあるが、「器」ではなく具体的な名称で書いたほうがよいのではないか。 ・48ページに「シンボリックな施設のあり方を検討します」とあるが、「施設」が何を指しているのか不明であり、すし職人養成学校を指しているのであれば、そうとわかるように表現を改めるべきではないか。また、「シンボリックな施設のあり方を検討」が何を意味しているのかも不明である（施設をシンボルにするための方法を検討するということ？）。県のすべきことはあり方の検討ではなく施設をシンボルにすることであるから、「施設が富山県のシンボルとなるよう魅力創出に取り組めます」などと書くべきではないか。 ・59ページに「幸せ」の語源が「為合わす」にあり、周囲との人間関係や協調が幸せにつながっていると述べられているが、その後の文章にどのようにつながっているのか不明なので、このくだりは削除したほうがよいのではないか。また、「県民の皆さんに概念的なウェルビーイングに親しみや関心を持っていたき」とあるが、この文章における「概念的な」の役割がわかりにくいので、削除するか「ウェルビーイングは概念的なもので掴みづらい面もあります」などと言いたほうがわかりやすいと思われる。
-----	--

164	まず、「県民と共に考える」との趣旨には大いに共感いたします。しかしながら、全体的に普段の生活ではあまり使われない横文字や専門的な表現が多く、内容を理解しにくい部分もございました。より多くの県民が共感し、意見を寄せやすいよう、できるだけ平易で分かりやすい言葉での発信をお願いしたいと感じました。 私は富山で生まれ育ちました。豊かな自然に恵まれ、子育てをするにはとても良い環境だと常々感じております。ただ、現在の子育て支援は「子どもを持つ」と決断した方々が享受できるものが中心です。少子化を食い止めるためには、若い世代が安心して将来設計を描けるよう、収入や雇用の安定をより一層図ることが必要だと思います。税金、社会保障料、水道・光熱費など、生活に直結する負担が重くなっています。県政としてできる範囲で、減税や生活支援などの施策を積極的に進めていただければ幸いです。 また、その観点と環境への配慮の両立を考えると、ソーラーパネルや海上風力発電などへの大規模投資については、慎重な判断をお願いしたいと思います。海外の方との共存については、制度設計がまだ十分に確立していない中で、やや前のめりになっているように感じます。 2025年にはミャンマーからも281人と増加していますが、同国の情勢が不安定であるため、在留期間後にも国に戻られず定住者となるケースも想定されます。このように移民が増加していくことに対しては、県民の多くが慎重な姿勢を望んでいるのではないかと感じています。日本人は優しいので表立って「移民反対」と声を上げにくいからこそ政治の役目でもあると思います。多国籍の方を受け入れるための社会的コストを考えた時にはプラスよりマイナスに転じる可能性も大いにあると考えます。 一方で、富山のモノづくり産業を支えていくためには、AIや省人化の推進が欠かせません。しかし、機械設備を導入すれば固定資産税が上がるような仕組みでは、中小企業が厳しい状況に陥ります。こうした企業を支えるため、助成金や低金利融資などの支援制度を充実させていただけないでしょうか。 また、一次産業を守るために、学校給食の地産地消を徹底していただきたいと考えます。販路を公的に確保することで、地域の農家や漁師の支えとなり、子どもたちの健康にもつながると思います。価格の安さだけを理由に海外産に頼ることには、子どもの健康面や地域経済の観点からも懸念を抱いております。 同様に、工業製品についても県内企業の応援をお願いしたいと思います。たとえばアルペンルートバスについては、婦中の三菱ふそう製の車両を採用していただければ、地元産業の支援にもなったのではないかと感じました。国産の電気バスがまだ限られていたとは思いますが、BYD製バスの発火事例や有害物質の問題、さらにEVが寒冷地に不向きである点などを踏まえると、三菱ふそうの低公害バスを採用する方が適していたのではないかと考えます。 今後、県での購入品にあたっては、ぜひ富山のモノづくりや一次産業を応援する観点も重視していただければ幸いです。 いろいろと申し上げましたが、県民のために日々ご尽力くださっていることに改めて感謝申し上げます。 今後とも、より良い富山の未来のために尽力されることを心よりお願い申し上げます。
165	「担い手の多様化」や「グローバル化」で外国人比率が高くなることは富山県の将来を左右する極めて重要な問題であると認識しております。 現在の人口減少や労働力不足の根本的な解決は、安易な外国人労働者の大量流入に求めるべきではありません。 外国人労働者を「その場しのぎの労働力」としてのみ捉え、国内の賃金・待遇改善や生産性向上（AI化、ロボット化）などの構造改革を遅らせることは、富山県のみならず日本の経済社会全体の停滞を招くこととなります。 イギリスやスウェーデンなどの欧州諸国において、大量の外国人受け入れが進んだ結果、社会の安定を脅かす深刻な問題が発生しています。日本はこれらの教訓に学ぶ必要があります。 また、自動運転での無人タクシーは移動手段にとっても良いですが、先だって導入された大阪万博では中国車が故障続きでした。内需拡大のためにも外国車ではなく国産車を導入するべきです。 そして、GXについても、現実には世界各国が脱炭素政策の限界に直面し、方向転換を始めています。欧州では電力価格高騰と産業競争力低下を受け、再エネ偏重政策を見直す動きが強まっています。ドイツでは石炭火力や原子力の再評価が進み、アメリカでも環境より経済と雇用を優先する政策への転換が見られます。 こうした中で、日本だけが巨額の公的資金を投じ続けるのは、国際潮流にも経済合理性にも逆行しているように思えてなりません。 特に、再生可能エネルギーの中核とされるメガソーラーや風力発電には、多くの問題点が指摘されています。メガソーラーでは、設置のための大規模な山林伐採により自然環境が破壊され、保水力の低下や地盤の脆弱化から土砂災害のリスクが高まります。パネル破損時には有害物質による土壌汚染や、それが海へ流れ込むことで水質汚染を招く恐れもあります。一方、風力発電は低周波振動による騒音被害が住民生活に深刻な影響を及ぼすことが報告されています。また、両者に共通して、発電量が天候に左右されて安定せず、設置場所も限られ、景観を損なう問題があります。さらに、建設コストやメンテナンス、撤去費用も高く、自然災害に弱いという致命的な欠点を抱えています。これらの問題を無視したまま再エネ拡大を推し進めるのは、将来に大きな負担を残すことになりかねません。 今求められているのは、理想論ではなく、堅実な県民生活と自然環境をともに守り抜く現実的な政策です。
166	全体的に見て、まだ浸透していないカタカナ語（ウェルビーイング・バイアスやアンコンシャスなど）は()書きで日本語にしてあってもわかりにくいです。日本語を先にして()書きのほうがまだ良いと感じます。 「06 人材活躍・共生」について 多文化共生で成功している国はあるのでしょうか？日本人の給料が下がりませんか？日本人の仕事が奪われませんか？日本人に技術が継承されず、技術が衰退し、国力が衰退しませんか？家族を呼び寄せて、日本人と同じ権利を主張するようになり、乗っ取られませんか？実際に、近所で外国人によるコミュニティが作られており、恐怖を感じています。富山県民としての誇り、土地を愛せる県民づくりをするとともに、給料の壁による働き控え、ニートを救済するほうが今後の安心・安全も考えるとよいと思います。 「11 観光」について 富山県民が富山県でホテルや旅館に泊まるのが嫌になる状況が現在聞かれる中で、過度なインバウンドはやめていただきたいです。東京や京都や大阪などの現状を再確認していただきたいです。 「12 環境」 環境を考えることはとてもよいことだと思います。必要のないリサイクルにかかる費用は、県民を苦しめていませんか？ゴミ分別しておきながら、実際には燃やしている現状があるのではないですか？炭素は本当に患者なのでしょうか？例えば、日本が2050年までに脱炭素ゼロを目指しても、気温は0.0004度しか下がらない試算が発表されています。国の指針とは言え、本当に必要なののでしょうか？ 最後に「ウェルビーイング」は、心も身体も社会的にも満たされた状態、実感としての幸せを表す言葉です。」の記載に沿って。もともと住んでいる富山県民が平和で豊かに暮らせる社会、ここで生まれた子供達が暮らしていて守りたいと思える教え、環境があれば、AIなど活用し、過度に新しい住民を入れなくてもやっていけるのではないかと思います。世界、そして他県での失敗例をしっかりと確認し、それを行うのが行政の責任だと思います
167	サイクルツーリズム、スポーツツーリズム、アニメツーリズムなどなど、県民もワクワクするような観光コンテンツを生み出してほしい。
168	多文化共生という名の元に海外の人々を多く受け入れる事に断固反対いたします。 何故少子高齢化が進んでいるのか、その原因を取り除く事、地方行政だけで無理ならば日本人の出生、定住数が増加するように国に働きかけるべきではないですか。仮に外国人を大量に受け入れて人口減少を止めたとしても、それは、もはや日本の富山県では無いのではないですか？名前が残るだけです。外国人割合が圧倒的に多くなれば、県、地域の名前も変わるかもしれません。名前は言いとして、そこは日本と言う場所なだけで日本ではありません。 外国人割合が大幅に増えれば、どうなる可能性があるのか。性善説又は楽観的思考等ばかりでは無く多様な可能性を考えていただきたいです。 地域住民の為の公務員のはずです。国の方針をそのまま進めるだけが地方の仕事なののでしょうか。本当に将来の事を考えてされるのならば、外国人の定住では無く、他にやる事があるはずです。 また、自然災害の激甚化とありますが、自然災害が激甚化して日本人でさえ住みにくい地域に外国人を入れるのは、それは良いのですか？？不思議でなりません。何と身勝手なのでしょう？と思われても仕方がない事まで書かれてあります。 長くなりましたが、日本人の地域住民の為になる事をしていただきたいです。よろしくお願い致します。
169	在留外国人との共生社会を実現するための条例の制定に反対です。 外国人材の受け入れ定着を図る前に、日本の子どもが増え、若者が定着する政策に優先して取り組んでいただきたいです。 日本を大切に思ってくださいる外国人もたくさんいますが、現在、外国人を受け入れ過ぎて治安が悪化し、今まで暮らしてきた日本人が安心して暮らせない地域が増えていきます。この現状から学び、安易に受け入れてしまうことでどのようなリスクがあるのかを考えなければなりません。 多文化共生とは良い事のように聞こえますが、きれいな面だけではありません。共生は、強制の側面もあるのではないのでしょうか。 一旦定住した方に再び帰ってもらうことは難しいです。受け入れに制限をかけるなど慎重さが求められると考えます。 人手不足と言われますが、給料を上げたら人が集まるのではないのでしょうか。ここは日本です。私たちが収めた税金で回っています。 外国人の受け入れにお金を使うよりも、子育て支援の充実や、日本人の給料を上げて経済的な余裕が持てるようにして欲しいです。 つたない文章ですが、子どもたちが安心して暮らせる社会を守りたいですし、その責任が大人にあると思い、意見を送らせていただきました。
170	この条例策定に反対です。 現在、日本は過去に類を見ないほど移民を受け入れています。移民受け入れの規則が緩いため、日本の文化に敬意のない方々も大勢入国し、結果として川口市のような不法移民、クルド人問題が発生しています。他自治体では共生社会の推進を謳いながら移民受け入れの推進を行なっているところがたくさんあります。この条例が制定されたら富山県もそうなるのでしょうか。非常に怖いです。 私は、在留外国人との共生は今ではないと思っています。外国人との共生社会とは、日本の文化を尊重し、納税し、共生を望んでいる外国人に対して行うべきものであり、移民受け入れの規則が緩い現状では、共生社会の推進はすべきではないと思います。移民受け入れの規則が厳格化され、不法移民や日本文化に敬意がない(迷惑行為等)方々を自国へ帰した後にすべきではないでしょうか。 少し話はそれますが、外国人の受け入れ推進の主な理由に、人手不足をあげておられますが、それなら子育て世代への支援が第一優先ではないのでしょうか。少子化の点からも、子育て支援は早急に行うべきものだと思います。出産者への支援、保育所業務にあたる職員への支援等、やることはたくさんあります。50年後、100年後に日本を支えるのは今の子供達です。それが外国人であって良いのでしょうか。それは日本と呼べるのでしょうか。未来ある子供たちが日本を作り、移民受け入れの規則が厳格化されたその先にこそ、多文化共生が見えてくると思っています。長々と申し訳ありません。

171	ドイツ、フランス、スウェーデンなどでは、移民受け入れ政策の拡大により、移民集住地区での犯罪率上昇、暴動、宗教的対立などが発生し治安が悪化しています。また、ヨーロッパに限らず、川口市におけるクルド人問題、佐賀の母娘殺傷、強盗殺人容疑で24歳のベトナム人実習生が逮捕されるなど、様々な外国人による犯罪等のニュースを目にすることが多くなり、日本国内においても治安が悪化していると日々不安に思っております。 富山県は自然が豊かで、海の幸山の幸にも恵まれ、凶悪な犯罪も少ない住みやすいところが魅力だと年を重ねそのように感じております。 「多文化共生施策」について、ヨーロッパ諸国における移民政策の失敗事例また日本国内における問題、犯罪の増加を踏まえ、社会的統合の課題や経済的負担、文化的摩擦、また治安悪化の懸念などを十分に考慮した上で、施策は見直すべきだと考えます。
172	「新たな総合計画の素案」に対して、意見を提出いたします。 【12の政策分野と主要施策】のうち、06人材活用・共生の内容にある、「在留外国人との共生社会を実現するための条例（仮称）」に反対します。 総合計画から外し、白紙撤回してください。 現在、富山県では高齢化・人口減少・労働者不足の状態です。外国人をサポートするような余力はあるのでしょうか。地域社会に文化・人種・言語の異なる外国人が入ってくることで、富山県民である地域住民のみなさまが疲弊することが懸念されます。すでに県内には2.4万人の外国人住民がおり、2022年から右肩上がりです。 「新たな総合計画の素案」P20にもあるように、外国人児童数が増えており、日本語指導・生活適応指導の充実を図る提案がされていることから、すでにサポートが必要な状態であることが伺えます。 3基本理念に記載されている、雄大な自然、おいしい水や食、豊かな伝統文化…これは今まで地域社会を支えてきた富山県民が維持してきたものです。日本人のモラルや考え方で成り立ってきたものです。このまま右肩上がり外国人が増えていけば、現在でさえサポートが必要な外国人がいる状態なのに、地域との摩擦やトラブルも右肩上がりに増えていく事が考えられます。自然・水や食・伝統文化、それらが押しつぶされてしまう懸念があります。 地域住民は、外国人サポートのためのボランティアではありません。共生という言葉で、昔から地域を支えてきた人々を疲弊させるのはやめてください。 県民のみなさまが身心ともに健康で気持ちよく生活を送れるように、ぜひともご検討よろしく願いいたします。
173	在留外国人との共生社会を実現するための条例（仮称）を制定には反対です。 射水市では中国、パキスタンの住民が増え、それに伴い外国人向けのスーパーが増えてきています。一人で出歩けない、騒音、ごみ処理など治安が悪くなっております。自転車で道路を渡ろうとして接触事故も起きています。ご高齢の方は隣に外国人の方が住むとなると不安がられるので在留外国人との共生社会を実現するための条例（仮称）制定には反対です。
174	「在留外国人との共生社会を実現するための条例」に反対します！在留外国人を減らす政策をお願いします 所得税非課税の上限を178万へ上げるよう日本政府に要望してください 日本に移民は必要ありません。
175	今、日本人の生活には不安要素が有りすぎます。移民受け入れについての条例制定とはあまりに先走りと感じます。 物事には順序があると思います。まずは日本国の日本人の生活基盤を整えることにご尽力頂きたいと思います。
176	在留外国人との共生社会を実現するための条例について 大反対です。まず日本を大切にしてください。
177	在留外国人との共生社会を実現 反対です。不法滞在外国人がいる現実、また日本コミュニティになじめずコロニーを形成し日本人に対して敵対行動をとる事案が見られる中、市民に我慢を強いるような条例には反対です。被害が被ってからではおそいと思います。川口市のようにほしくありません。
178	在留外国人との共生社会を実現するための条例 治安が悪くなる可能性があるため反対です。
179	在留外国人との共生社会を実現するための条例（仮称） この条例の制定に反対いたします。 日本の風土、風習、習慣から外国人との共生はほぼできないからです。 都内では外国人が多くなり生活の質が下がり続けています。小学校でも日本語が話せない子どもが授業妨害する様も度々見ました。 街は汚くなり、夜中でも大声を出して歩き回る外国人が我が物顔で闊歩している様を見る度に悲しい気持ちになり、子供の将来が心配になります。 本当に県民の未来を考えるのならば、県民が安心安全な生活を送れる環境を整えることが第一です。 ヨーロッパは過度の移民を受け入れた為に悲惨な状況になっています。 地方でも出生率を上げ、経済の底上げ施策を施し、人口増加させた市もありましたよね？ 安易にどこから連れて来るのではなく、今いる県民、日本人の幸せを一番に考えて政を行って下さい。
180	在留外国人との共生社会を実現するための条例 反対です。治安が悪くなるので。価値観が違う人と仲良くするには時間がかかると思います。
181	「在留外国人との共生社会を実現するための条例」についての危険 ご存じ外国人は様々なバックボーンを背負って来られています。例えば中国には国防動員法という法律があり有事の際、在日中国人は母国の兵士としての義務を負うことになります。共生社会の実現は有事の時をも想定しておかねばなりません。危機管理が充分にできますか？敵国の兵士と共生できますか？
182	県外の物が物申して申し訳なく思いつつどうしても昨今の「少子高齢化の問題を外国人住民で補う」危険性の認識が甘いようなので、何をすべきかをもう少し具体的に制定された方が、後々のトラブルの火種にならないと思ひ送信します。 外国人全てが日本の文化価値観と共生可能な思想を持っていない。これは相手が悪いわけでも受け入れられない日本が悪いわけでもなく、「自由、平等、人権」の意識がない人達は存在します。重ねますがその人は悪ではない。彼らの文化の中では「平等」は必要な概念ではないので普通なのです。ここを間違えて「話せばわかる」とか「世界は同じ」とかいうお花畑頭の人がいるから地獄なのです。圧倒的に話の通じないひとは、います。 それが多様性です。日本に来たからと言って人権意識が芽生えるなんてことはありません。 具体的にいうと、2024年10月頃からドイツで大問題になった小学校でのいじめがあります。ご存知かと思いますが、ある宗教の子供が、同級生の子女生徒が体育や音楽の授業を受けることを受け入れられずいじめを行った、という物です。とある宗教の一部の国の思想ではそもそも音楽の授業は禁止されています。また女子生徒に体育を行わせる事も禁止されています。その文化を持つ子供達は自分の正義感から、自分達は音楽をするべきではないといじめたのです。 それを対応して女子生徒に音楽をしても良いと言った学校にはどんなリアクションが待っていると思いますか？「差別主義者！」と言われるのです 日本で同じ事は起こらないとは限りません。どの様に公教育を守りますか？どの様に男女の平等を守りますか？どこまで家庭と宗教に介入できますか、すべきですか？日本全体です、そこまで考えていません。だから今後絶対にトラブルが起き、そして反動で人は右に流れるのです。 実際、シンガポールやUAEなど移民政策がうまく行っている国はどうしているのでしょうか？すごく厳しいルールを明文化しています。道端で祈るのはUAEでは禁止です。トルコでは良いレストランに被り物して入れません。シンガポールは明るい北朝鮮と呼ばれる位厳しいです。そういう国しか移民政策でうまく行っていません。 富山県は警察機能を強化できますか？ 豊田の教育委員会は宗教と教育を憲法の原則のもときちんと対応できますか？ 貧しく、学が無い人ほど己の生きてきた世界観と宗教感が強い傾向があります。世界を知らない人ほど世界と摩擦を起こす。しかしいま日本に来てくれる外国人は、円安の影響もありそういう人達です 外国人を入れるなどは言ってます…入れるなら覚悟を持って日本人で明文化しなくても良いことを明文化し、罰則をつけ、法を遵守させるための権力も維持する。それがみんなが幸せに生きる道です。昨今参政党の台頭や日本人ファーストデモもありますがそれは人々が愚かなのではなく国や地方行政がきちんとルールをつくらず、不法な状態を曖昧にしているから、元々いた人は自己防衛の為に運動を起こすのです。それは彼らがアホなんじゃなくて社会的動物の人間の本能です。 A 少子高齢化に対抗して子供を産んでもらうには「子供を産んだほうが得」な状態にすることです。つまりは税金の優遇。高齢者に手厚すぎる支援はせず、働き産み育てる世代を徹底的に優遇しないと、消滅しますよ。人は利あるものには逆らえないのです。 B 動物愛護がありました。これも宗教の話になりますが、いまのハラール食の多くは現代的ではない非常に動物が苦しむ方法で屠殺する事をご存知ですか？（最近では苦しめない方法も増えてきた様ですが）動物愛護の観点から私自身はハラール食を避けています。多文化共生と動物愛護もよく考えないと矛盾が生じています。県として動物愛護を推進するなら、残酷な方法での屠殺肉はハラールでなくても禁止しなくてはなりませんね？ その見解をもう少しクリアにされた方が良いと思います。 今は立ったの数の%の外国人ですが、この資料を作った方が仮に40代だったとして、その方が生きてる間にあっという間に増えますよ。なぜなら彼らは産む事が正義だからです。そして日本のほぼ無料医療ならどんどん産むでしょうね。 そうして10年も経たないうちに、嬉しいことに人口は増えますよ。でもね、いまイギリスやアメリカ、ドイツで起こっている多くのテロや暴力行為の多くは、難民や移民2世や3世が行っているのです。自由に国に来て、と思うかもしれませんが、自由の国での同化政策に失敗すると過激化するの歴史が証明しています。 富山は素晴らしいところです。どうか富山が今後成長するために、その基盤を作るのが今であれば、最大限の注意を払い、100年後を見据えてください。もちろん諸々の明文化には細心の注意が必要です。特定の宗教などをターゲットにすると違憲ですから。 それから最後に思い出しました！ 自動運転の実証実験を今すぐ始めてください。ライドシェアとかすっ飛ばす。雪深いエリアでの運転の先駆者になるのです。とにかく高齢者も移動が問題なのです。人もいないので。まずは自動運転が解決します。 我々の将来は確実に1人で死ぬか、移民にお尻を拭いてもらう生活が待っています。日本人の介護者なんて2040年にはいません…(いたら超絶高額でしょう)…本当に外国人に社会のツケの失敗の文字通りケツを拭かせる事を推進するのですか？ キラキラワードに包まれながら富山にある強烈な男尊女卑、女性が逃げていく田舎の構造、それらを解決できないから、他国の人にお尻を拭いてもらった後はどうするのですか？ そこに日本の大事な風景は残るのでしょうか？ 私はもしそれで日本が失われるなら喜んで姥捨山に行きます。 そこまでの危機感を持っていますか？ 外国人が増えればいいや それでもまだ数%だし、って思いませんか？

183	子供が元気に遊べる遊び場や、多様な世代の人たちとの交流を通して成長できる場づくりが必要。雨の日でも遊べる場所など、こどもたちの遊び場を増やしてほしい。
184	この条例案は、トラブルが起きたときの「誰が片付け、誰が払うか」がはっきりしていません。住民に清掃を強制することはできません（憲法18条）。外国人の価値観の違いによる騒音被害も同様です。では、違反者が分からない／払わない場合、市や県が税金で実施するのか、実施するなら年間いくら見込むのか、回収不能分はどの科目で最終負担するのか数字で示してください。 物損事故も同様です。自賠償はケガのみで、物の壊れは任意保険と加害者の資力頼みです。無保険・無資力なら被害者が泣き寝入りになり得ます。川口市で見聞きする「外国人による犯罪・事故での泣き寝入り」が生じた場合、市や県は肩代わりしないのか、するのか。するなら上限と審査は何か。線引きを明記してください。 公立病院の未払い（重要）：厚生労働省の調査では、2023年9月の1か月で受入実績のある病院の18.3%が外国人患者による未収金を経験し、未収金の総額は病院あたり平均約49.6万円、1件あたりは多くが5万円以下でした。つまり未収は恒常的に発生しています。この穴埋めを税金で行うことには反対です。条例に、病院事業会計での最終負担の有無、A一般会計への波及（繰入）を許すのか否か、B回収不能率と見込額（期待損失＝発生確率×損失額）の数値を明記してください。 さらに、相手の資産が海外にしかない場合、賠償の越境回収は実務上困難です。ここも回収不能率と見込額を期待損失で出すべきです。（〔厚生労働省〕〔1〕） 結論：金銭トラブル（未収金・物損賠償・越境回収）の設計を詰めない多文化共生案は、住民への白紙委任であり無責任です。責任主体・財源・上限・審査・回収不能率を数値で開示し、RIA（費用便益・想定財源・回収不能率）付きで出し直しを強く求めます。 付記：数字なき「共生」＝住民負担の白紙委任。 [1]： https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_41976.html “令和5年度「医療機関における外国人患者の受入に係る実態調査」の結果 厚生労働省”
185	1 地域の目標を職場と同率とし、目標をそれぞれ100%に近づける。（意見） 本県はウエルビーイングと寿司について、マスコミで文字を見聞きしない日はなく、関西万博でも世界中に周知され、言葉を知らない県民を探すのは困難と感じる。また、「寿司と言えば富山」の認知度は、日本3位がブランディング戦略により10年を待たつことなく、知事の任期中に1位になるよう期待する。（以上は意見ではない） しかし日本はもとより世界から富山を選んだ外国人や旅の人が、10年後の目標として職場の2割、地域の4割が男女の平等感を容認する県では、せっかくの移住の機会を失することになる。 会社や役所では男女の地位の平等を理解し、地域では理解しないのは、千代田区のような昼夜人口構成が異なるなど何らかの事情があるならともかくとして、矛盾するように感じる。まるで会社では県や消費者の目があるから表面上理解しているよう回答し、地域では地に戻って本心では不平等を是とするのを認めているようなものだ。 ウエルビーイングの対象は県民全体であり、性別や納税額で差があるわけではないので、あるべき姿は100%であり、それ以外の目標はあり得ないのではなかろうか。 女性活躍の施策を推進しているので会社の比率は高いが、アンコンシャスバイアスというより、女性の地位を低く見る一定の男性層や古い価値観の県民の意識を変容させる必要があるのではないか。女性向けのパンフレットなど手に取る機会はあるが、地域の男性向けの施策は、私が知らないだけかもしれないが、正直何を実施しているのかわからず、そのことが現状の数値に示されている。富山県はDXが進み、SNSなど伝える広報の先進県と聞こえてきているが、そもそも女性施策の政策優先順位が低いのではないのか。職場と地域の差が90数万人の2割のため、数千人の価値観の変容では規模感が異なり、意識を変えたとしても、行動が伴わないと、例えば生涯学習を実施したいと考えているが、金や時間を言い訳にして、実際は3割程度みたいな話と同じで、要は口だけでは実態は高くない。生涯学習は個人の問題のため、行政はそれほど深く関与する必要性は高くないといえるが、ジェンダーギャップは異なる。女性ならではのアイディアで、県の人財である若手と管理職の知見を真剣に集め、総合計画策定において知事が全市町村で意見を聞いたように、女性施策に絞って、副次的に男女共同参画の話をするのではなく主目的で、市町村民に理解を求めるよう抜本的に施策を考え直したらどうか。 2 選択的夫婦別姓について、国に積極的に要望するなど書きぶりを積極的方向で変えたらどうか（参考意見） 高市内閣が発足し、通称使用拡大を指示したが、県民に不便、不都合を解消するとともにウエルビーイングの観点から選択的夫婦別姓に反対する合理的理由は考えられない。ウエルビーイング先進県ではない小池東京都知事ですら賛成と公言し、国に生活文化スポーツ局長が要望しているが、本県知事は態度を明確にしていない。 結婚後、大半の男性の姓となるのは喜んでなんて人は少なく、通称使用は明らかに不平等感が強く、選択的夫婦別姓ではないので結婚できない人も散見する。まずは新田知事自ら選択的夫婦別姓について強力に文書で国に要望すべきと考える。

186	素案を確認させていただき、コメントを記載いたしました。長文となり読みづらい部分もあるかと思いますが、ご確認いただけると幸いです。 P16 こども・子育てについて ●「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」のアンケート指標の母数が不明確であり、意図的に見えてしまう懸念があります。富山県全体の全児童生徒を対象としているのか、特定学校の結果なのかを明示してください。 ● 幸福感は調査タイミングで変動するため指標として不十分と考えます。富山県の各市町村ごとの学生に以下の観点も併せて調査し、各市町村ごとの生活環境との関連を可視化してほしいです。 1. 日常生活で不便がないか 2. 安心して遊べる環境があるか 3. 自分の住む地域は安心・安全か 4. 自分の街に何があれば幸せとを感じるか（自由回答） ● こども食堂の数を指標化することは適切ではないと考えます。どのくらい貧困している子供がいて、そのうち何人がこども食堂を利用しているかであれば、数値として適切といえますが、生活に不自由していない親子ずれ、子供がこども食堂を利用している実態があるなかで、こども食堂を増やすだけの目標は、実態を把握しておらず、不適切と考えます。 ● 安心して遊べる公共の遊具施設や室内遊び場の整備が不足しています。春秋は、野生動物が街中に来る可能性がある。夏は暑く、冬は豪雪。外で遊ぶ機会が10年前に比べてはるかに減っています。季節や気候の影響が大きい富山で、デジタル依存を防ぐためにも、物理的な居場所整備が必要です。 P17 こども・若者・子育て当事者のライフステージに応じた切れ目ない支援について ● 保育士等の人材確保は、人口減少が進む中で具体策を示す必要があります。 例：10年以上の勤務を条件とした移住支援金など、人口増効果も期待できる対策を。 ● 子育て支援の財源確保について、持続可能な仕組みの説明が必要です。 ● 県独自のマッチングアプリは、使われない可能性が高く、費用対効果が低い懸念があります。若者交流の場づくり、テーマ型フェス、デートで有効な商業施設の新設など、物理的な出会いの場確保が有効です。 P20 学校・家庭・地域で取り組むこどもの健やかな成長の支援について ● 読書環境整備だけでなく、地域の学習スペース整備を併せて推進してください。集中して利用できる場所が不足しています。 ● 登下校時の地域協力は、高齢化の進む地域では担い手不足が課題です。行政主導の安全対策を強化してください。 P21 教師が意欲と能力を高め、こどもと向き合える環境づくりについて ● 人材不足のみを理由にせず、適性評価を重視した採用を希望します。特に児童生徒への安全確保の視点から、過去に虐待や性犯罪がないかなど厳格な審査をお願いします。 P25 医療体制の整備について ● 医療機関数の「増加」だけでは不十分です。地域偏在が大きいため、規模別・地域別の指標で不足地域に重点整備してください。 ● 災害対応力（BCP）強化とバランスの良い配置が必要です。 P33 多文化共生と外国人材活躍による活力ある地域づくりについて ● 富山国際大学など、県内教育機関と連携し、地域単位のグローバル教育モデル創出を提案します。例えば、大山地区の学生に対して試験的にイベントの開催やグローバル教育を実施し、国内外にアピールができると富山の注目度もより上がります。 P36 除雪対策と安全・安心な暮らしの確保について ● 都市部以外の除雪支援を強化してください。高齢化・孤立リスクの高い地域が優先されるべきです。 ● 熊対策では、出没地域差の分析と、山側環状道路など多目的効果のある対策を検討願います。なぜなら、熊の出没が近年多くなっております。その中で、クママップを確認したところ、八尾地区、婦中地区には熊がほとんど出没していない結果となっています。なぜ八尾と婦中には熊が出ず、隣の大沢野地区には大量の熊が発生しているのかをぜひ分析して、今後の熊対策に活かしてほしいです。私の見立てでは、山間部と住宅街の間に鉄道や交通量が多い道路があるからではないかと考えています。東京都では、大きな環状道路の外と内側で熊の出没数に大きな違いがあるようでした。そのため、石川県のように富山県の山側に環状線のような道路を滑川あたりから砺波にかけて通すことも熊被害を減らすと同時に8号線の渋滞緩和や新しい物流ネットワークの構築にもなると考えます。単純に、一時的な対策ではなく多様な効果をもたらす対策を検討いただきたいです。 ● 用水路に対する策やグレーチング設置などを求めます。また、昨今熊の移動ルートとしても使われるケースがあり、熊が入れない、通れないようにするなど様々な視点で対策を検討いただきたい。 P37 交通利便性の向上について ● 富山地方鉄道のICカード対応（Suica等）が急務です。県外・訪日客の利便性向上に不可欠です。なぜなら、県外からの人はSuicaやICOCAなどを使って移動してきているため、そのままの交通サービスで利用できないのは不便です。海外の人も直接富山に来る人は少なく、たいいていは、東京や大阪を経由して来るため、やはりSuicaの利用は必須と考えます。 P38 まちづくり・交通について ● 郊外地域にも具体的な都市像・強みの設定が必要です。例：観光・自然・教育等、地域特性を生かした街づくり 各地区でどういった都市にするかテーマを設けるとよいと思います。例えば、氷見市は、海鮮観光の街 魚津市は、e・スポーツの街など富山市などは、大きすぎるので、富山市のテーマと地区ごとに八尾地区は、おわらによる観光の街、大山地区は、観光（恐竜・みょうが寿司など）とグローバル教育の街など何を強みとした街を作るかを決めることよりそこに何を作るべきかが明確になると思います。東京都などは、渋谷・原宿は若者の街、巣鴨は、おばあちゃんのお原宿など通称があるので、どんな街がすぐにイメージできます。 ● 富山地方鉄道の中間地点の集客施設整備により利用増が見込まれます。なぜなら若者は街中、郊外は高齢者のみでは、観光事業が衰退するためです。富山の観光事業は、郊外にあり、その郊外を支える若者を増やす必要があります。そのためにも、街中同様の再開発事業をもって良好な移住空間を整備するべきです。これは街中だからこうすべき、中山間地域だからこうすべきとかではないと考えます。若者と高齢者が特定の地域に偏るようになると、バランスが崩れた街になり衰退します。東京は、高齢者も若者もバランスよく地域に分散しているため発展し続けていると考えられ、地方都市になればなるほどバランスが崩れた街になり衰退していると考えます。また、車の免許を持たない若者が現状富山駅以外で富山地方鉄道に乗って出かけたいた駅がありません。例えば、遊園地や大型の商業施設などが岩崎寺から大庄地区までの間にあれば、富山駅との間で利用客が増えると考えられます。通学、通勤の足としてしか利用されてない富山地方鉄道をそれ以外で利用してもらうには、富山駅と立山駅の中間あたりに、街中の若者が魅力的だと感じる遊園地や大型の商業施設を設けることで十分富山地方鉄道の増益増収を実現できると考えます。 ●富山地方鉄道の利便向上（直通化等）富山駅から立山駅まで最短距離の上滝線を岩崎寺乗り換えなしに立山駅に行けるルートを作るべきと考えます。観光客は、最短ルートで立山駅から立山へ行きたいと考えますが、現状乗り換えなしの場合は、上滝線ではなく立山線を利用する方法しかなく、観光客の視点で考えるととても不便です。 P47 観光施策について ● 富山市内の道の駅が不足しています。立山観光ルート上（月岡～上滝間など）に整備を提案します。立山観光のルートとして車移動だと富山上滝立山線で月岡から上滝のあたりに道の駅があっても良いと考えます。寿司といえば富山でいうのであれば、みょうが寿司があり、恐竜もあり観光拠点とした道の駅を作るには最適な要素がある場所といえます。立山町に立山あるペン村はありますが、富山県を代表する富山市としての道の駅もあってもよいと思います。 全体的な意見 ● 「こどもまんなか」を掲げるなら、天候や獣を気にせず安心して遊べる室内遊具場など環境整備を特に郊外の地域最優先にしてください。 ● 遊具施設が特定地域に偏在しているため、バランス改善が必要です。 ● 割合表示の指標には母数と根拠データの明示を求めます。
	187 子育て世帯が安心して生活できるよう、住宅の取得に対して助成を行うなど、富山県で子育てがしたいと思える環境づくりに取り組んでほしい。
	188 在留外国人との共生社会を実現するための条例に反対 外国人優遇に反対します 日本人を優先してください 外国人の犯罪やマナー違反を厳しく取り締まってください
	189 案の資料内「06. 人材の活躍と共生」にて記載されている、「外国人住民との共生社会実現条例（仮称）」の制定に反対いたします。県内にも外国からの移住者（労働や家族呼び寄せで居住されている方々）を多数見かけるようになりましたが、生活マナーを守ろうとしない（知ろうとしない）方々も多い中で元々住んでいた日本人の県民に対して一方的に条例で縛りを付けることには疑問があります。日本人が守られないのであれば、共生社会と呼べるのでしょうか。今一度お考え直していただきたいです。
	190 年齢・性別・障害の有無にかかわらず、誰もが身近な場所で、いつでも、ともに楽しめるインクルーシブな環境を整備する必要があるのではないかと。障害のある人が芸術やスポーツの分野でもっと活躍できるようにして、多様な自己実現の機会を充実させてほしい。
	191 文化やスポーツを通じて、世代を超えてコミュニケーションできる場をつくってほしい。孤独を感じる高齢者や障害者も参加できる環境が必要だと思う。文化芸術やスポーツは、生きがいづくりだけでなく健康増進にもつながることから、医療や福祉と連携して、包括的なプログラムを進めてほしい。
	192 高齢者がどんどん増えるので、一人ひとりが生きがいを持って元気に暮らせる県にしてほしいです。高齢者の孤独死がなくなるように。一人暮らしの老人も趣味などを通して仲間づくりができると良いです。
	193 インターネットやSNSを通して子供たちが犯罪に巻き込まれることがないよう、しっかりと対策を強化する必要があるのではないかと。子供が痛ましい交通事故に巻き込まれることがないようにしてほしい。
	194 多文化共生を騒がれている昨今で、国、県、市、それぞれに色々努力はされていることと思いますが、根本的な話をお忘れでないでしょうか？労働力のために日本に来る人と、日本が好きで来ている人とは基本的な考え方が違う事を。日本人は基本的に郷に行っては郷に従えと言う考え、教育がされていますが、労働力として入れようとする国でそのような考え、教育はされていますか？もしも本気で共生を考えたり、指導するのであれば一緒に暮らしてみてもいいからにはしてはどうですか？ せめて外国人が近所に住んだ場合に迷惑事が起きた場合には誰が責任を持って対処するのか、近所の住民に緊急連絡先を伝えるなど、日本人に対しても責任ある事をして頂きたい。 日本人は基本的に仲良くやろうとする外国人には手を差し伸べることができます。ですが、怖い事や迷惑事があった時には我慢するのが日本人であります。なので、住民が我慢せずに暮らせる様な責任までちゃんと負うような制度にしてください。
	195 地域の歴史や自然、文化など、まだ知られていない観光資源を発掘して観光客にアピールすることで、観光客の増加だけでなく、地元の人が自分たちの地域に誇りを持つことにもつながるのではないかと。